

## 第68回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 次第

日時 令和4年12月23日(金)  
18時00分～19時30分  
会場 庁議室

1 開会

2 議事

新型コロナウイルス感染症 現状の分析・評価と今後の対応

3 閉会

## 配布資料一覧

- 1 出席者名簿
- 2 ご議論いただきたいポイント
- 3 配席図
- 4 埼玉県新型コロナウイルス専門家会議設置要綱
- 5 説明資料1 PCR検査等の現状
- 6 説明資料2 陽性率の推移
- 7 説明資料3 陽性者数、退院・療養終了者数の推移 等
- 8 説明資料4 年齢別感染者の推移・感染経路推移
- 9 説明資料5 即応病床使用率の推移 等
- 10 説明資料6 その他参考指標の推移 等
- 11 説明資料7 診療・検査医療機関に関するアンケート
- 12 説明資料8 年齢別発症者数 等
- 13 説明資料9 埼玉県の主要地点、歓楽街の人出

- 14 説明資料 1 0 高齢者施設における感染発生状況 等
- 15 説明資料 1 1 公立学校の感染状況 等
- 16 説明資料 1 2 新型コロナワクチンについて
- 17 説明資料 1 3 本県における現在のレベル（案） 等
- 18 説明資料 1 4 第 8 波に対応する検査・保健・医療提供体制について
- 19 説明資料 1 5 年末・年始における対応について（福祉部）
- 20 説明資料 1 6 1 都 3 県共同メッセージ
- 21 説明資料 1 7 観光応援キャンペーンについて

## 埼玉県新型コロナウイルス専門家会議出席者名簿

### 【委員（敬称略 五十音順）】

池田 一義	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会 会長
岡部 信彦	川崎市健康安全研究所 所長
金井 忠男	埼玉県医師会 会長
川名 明彦	防衛医科大学校 教授
小谷野 和博	埼玉県中小企業団体中央会 会長
讃井 将満	自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長
竹田 晋浩	かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長
松田 久美子	埼玉県看護協会 会長
光武 耕太郎	埼玉医科大学国際医療センター 教授

### 【県側参加者】

大野 元裕	知事
金子 直史	福祉部長
三須 康男	危機管理防災部長
山崎 達也	保健医療部長
星 永進	保健医療部 参事
本多 麻夫	保健医療部 参事
板東 博之	産業労働部長
石井 貴司	副教育長
岸本 剛	衛生研究所 副所長

## ご議論いただきたいポイント

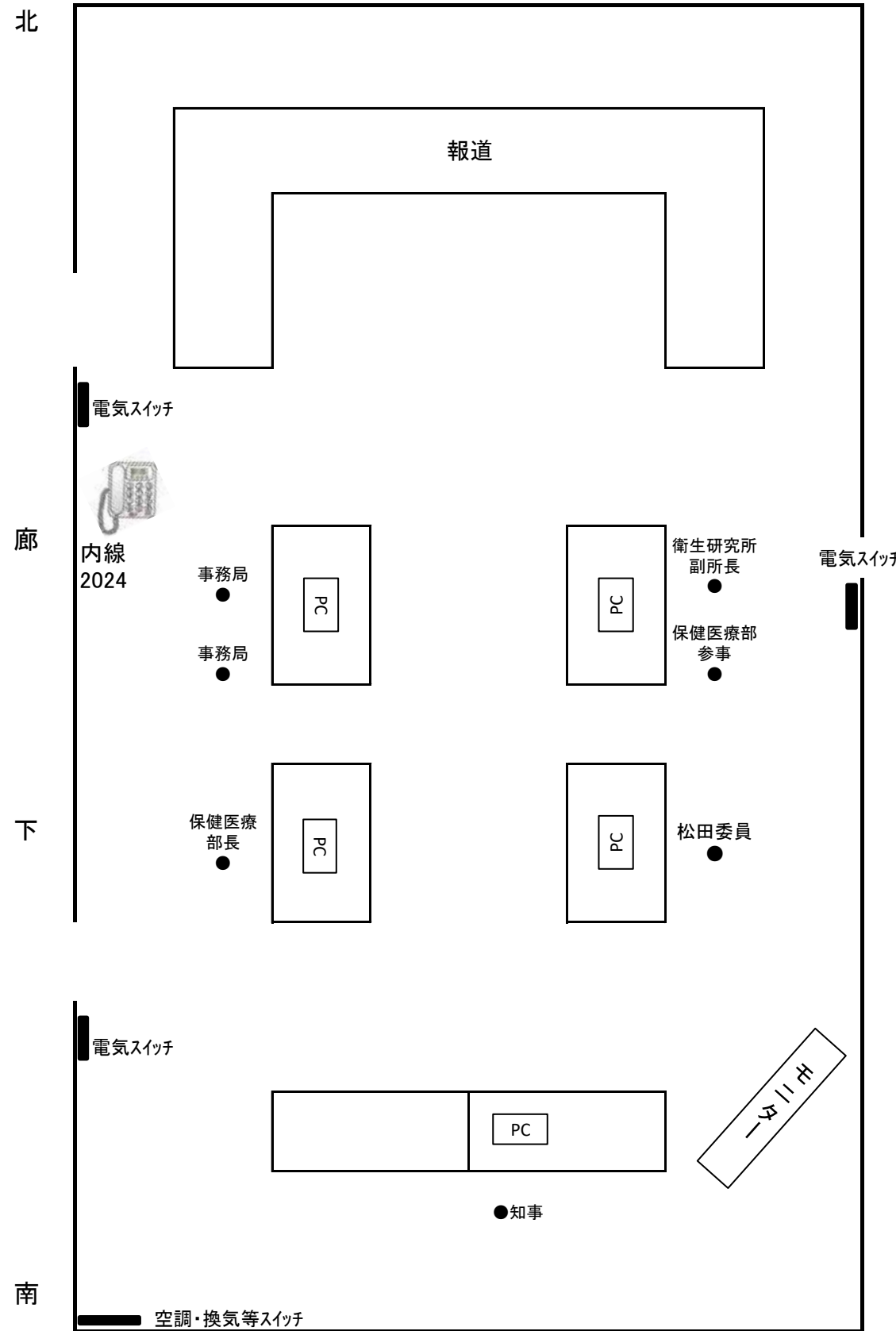
埼玉県現状分析・評価を踏まえた今後の対応について

ア 現状の分析・評価

イ 埼玉県の対応について

ウ その他

# 庁議室配席図



## 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議設置要綱

### (目的)

第1条 新型コロナウイルス感染症等の発生状況等を踏まえ、本県の実情に合った対策を検討するために、県内外の専門家からなる「埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議」(以下「専門家会議」という。)を設置する。

### (項目)

第2条 専門家会議は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項について意見を述べるものとする。

- (1) 新型コロナウイルス感染症等に関する県の医療体制に関すること
- (2) 今後取り組むべき感染拡大防止策に関すること
- (3) その他必要とする項目に関すること

### (組織)

第3条 専門家会議は、別表1、2に掲げるメンバーをもって構成する。

2 主宰は知事が行う。

3 主宰に事故あるとき又は主宰が欠けたときは、主宰があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

### (会議)

第4条 専門家会議は主宰が招集し、意見を聴く項目を提示し、会の進行を行う。

2 新型コロナウイルス感染症特別措置法に基づく措置等、感染拡大防止策のうち、県内経済に重大な影響を及ぼす項目に対する意見を聴取する場合には、別表1に加え別表2のメンバーを招集し会議を開催する。

### (会議の公開・非公開)

第5条 専門家会議は原則非公開とする。

### (事務局)

第6条 専門家会議の庶務は、保健医療部保健医療政策課において処理する。ただし、別表2のメンバーに係る庶務は、産業労働部産業労働政策課において処理する。

### (その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施に関し必要な事項は、主宰が別に定める。

### 附則

この要綱は、令和2年3月2日から施行する。

### 附則

この要綱は、令和3年1月27日から施行する。  
附則  
この要綱は、令和3年4月8日から施行する。  
附則  
この要綱は、令和3年4月30日から施行する。  
附則  
この要綱は、令和3年5月31日から施行する。



別表 1 (第 3 条関係) (五十音順)

岡部 信彦	川崎市健康安全研究所 所長
金井 忠男	埼玉県医師会 会長
川名 明彦	防衛医科大学校 教授 ＜内科学（感染症・呼吸器）＞
坂木 晴世	国際医療福祉大学大学院 准教授 ＜医療福祉学研究科 保健医療学専攻 看護学分野＞ 感染症看護専門看護師
讃井 将満	自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長
竹田 晋浩	かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長
松田 久美子	埼玉県看護協会 会長
光武 耕太郎	埼玉医科大学国際医療センター教授 ＜感染症科・感染制御科＞

別表2（第3条関係）（五十音順）

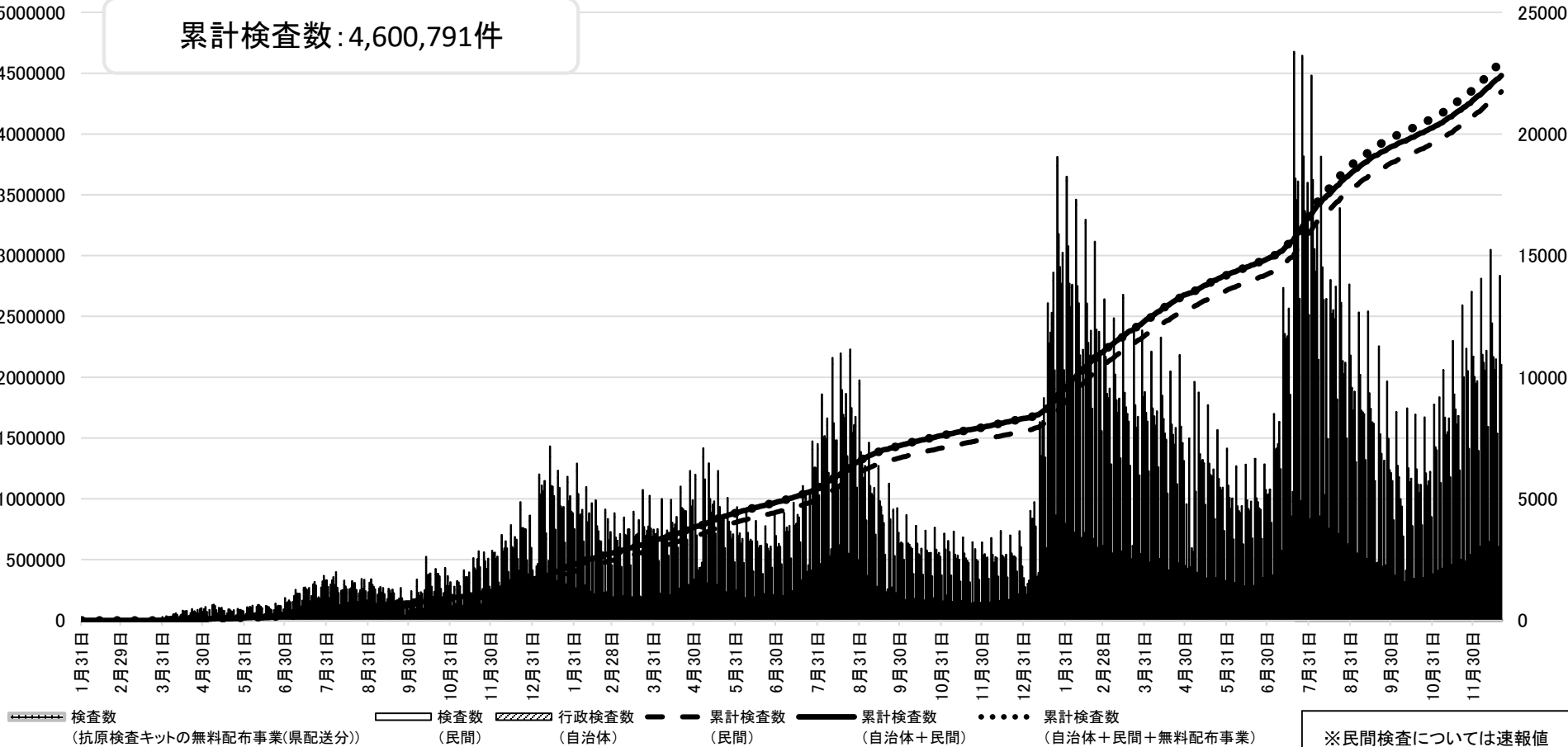
池田 一義	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会会長
小谷野 和博	埼玉県中小企業団体中央会会長
近藤 嘉	日本労働組合総連合会埼玉県連合会会長
三村 喜宏	埼玉県商工会連合会会長

# 現状の分析・評価

# PCR検査等の現状

資料 1

累計検査数: 4,600,791件

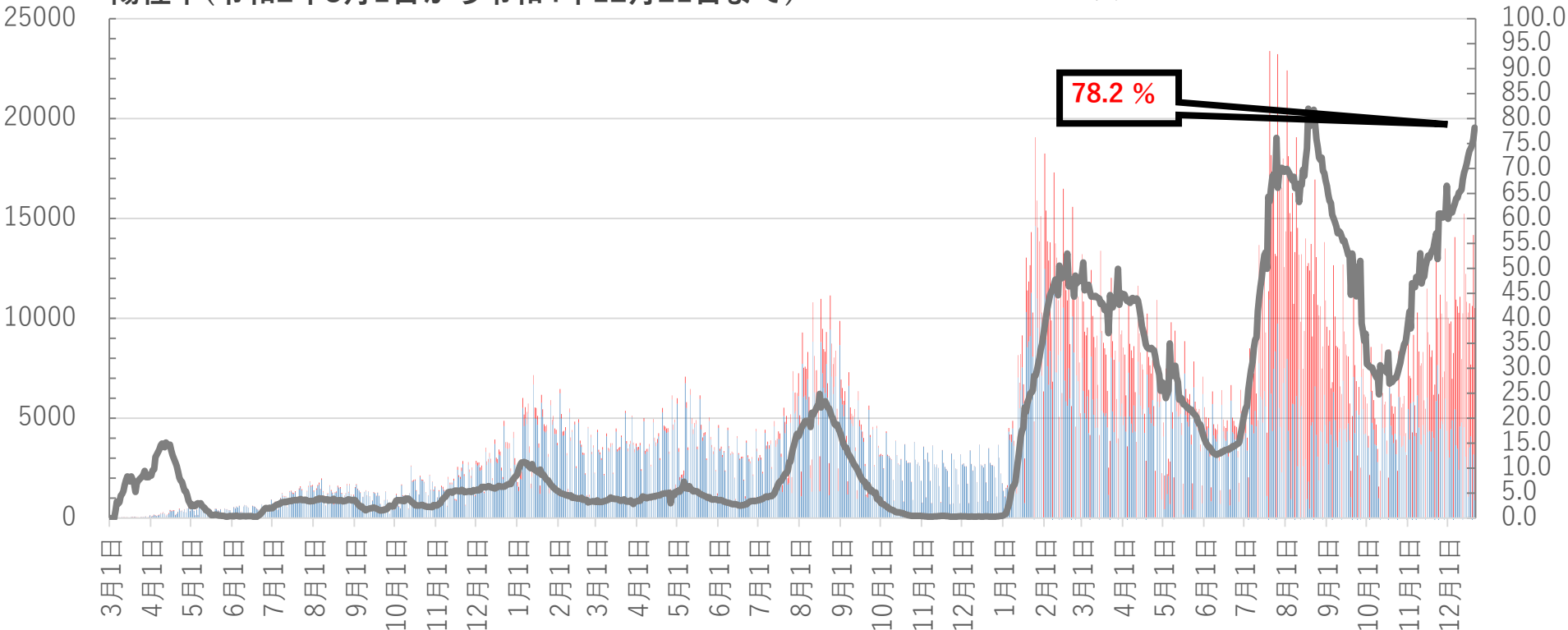


# 陽性率の推移

資料 2

陽性率(令和2年3月1日から令和4年12月21日まで)

■ 陰性 ■ 陽性 — 移動平均



※陽性率は、民間検査の検査人数が報告されるまでのタイムラグなど日々の結果のばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、移動平均の値を使用。

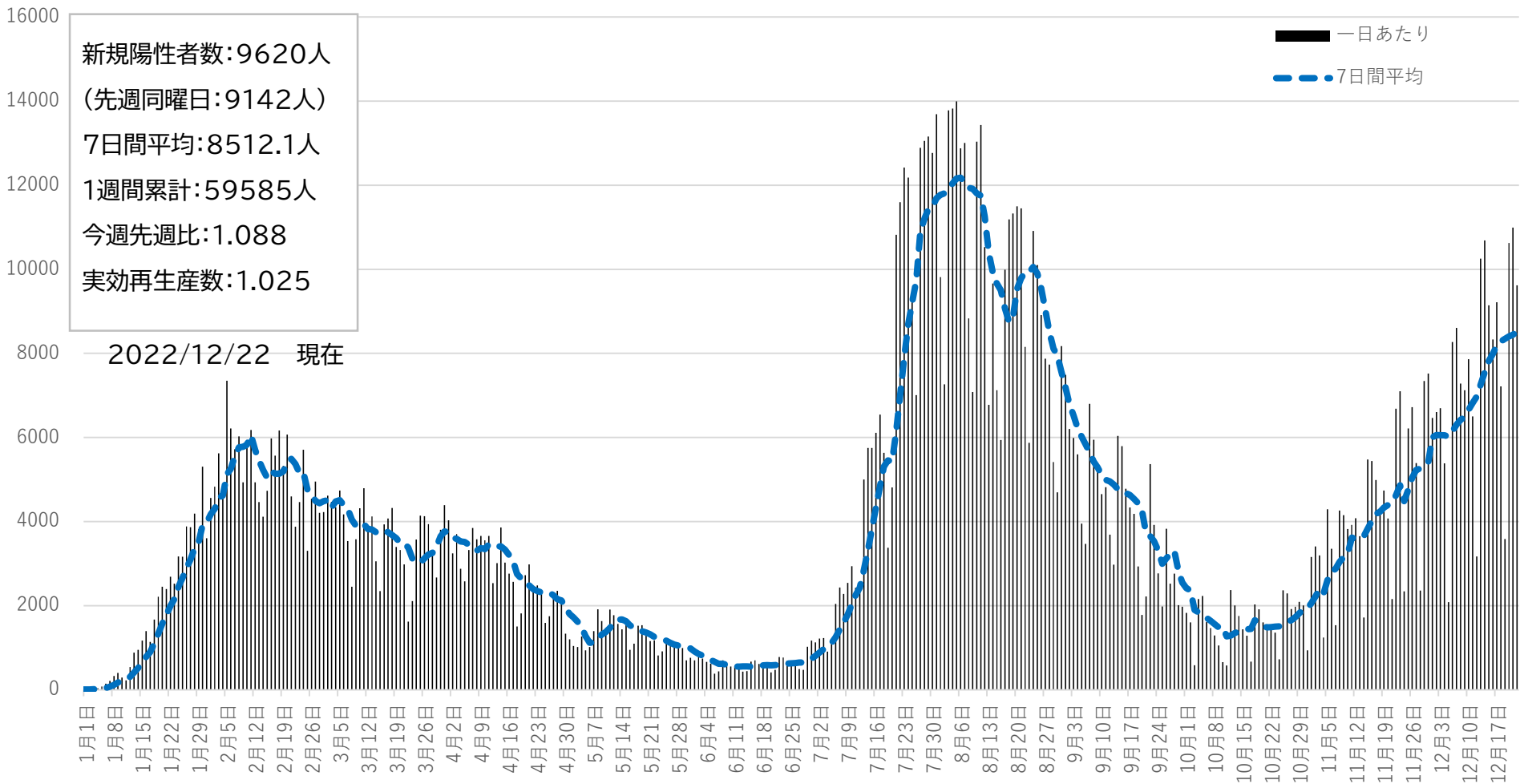
「過去7日間に判明した陽性者数」を「過去7日間に判明した陽性者数と陰性者数の和」で除した値を、その日の「陽性率(移動平均)」としている。

※民間検査分は速報値であるため、遑って数値を修正する場合がある。

※陰性確認のための検査は含まれていない。

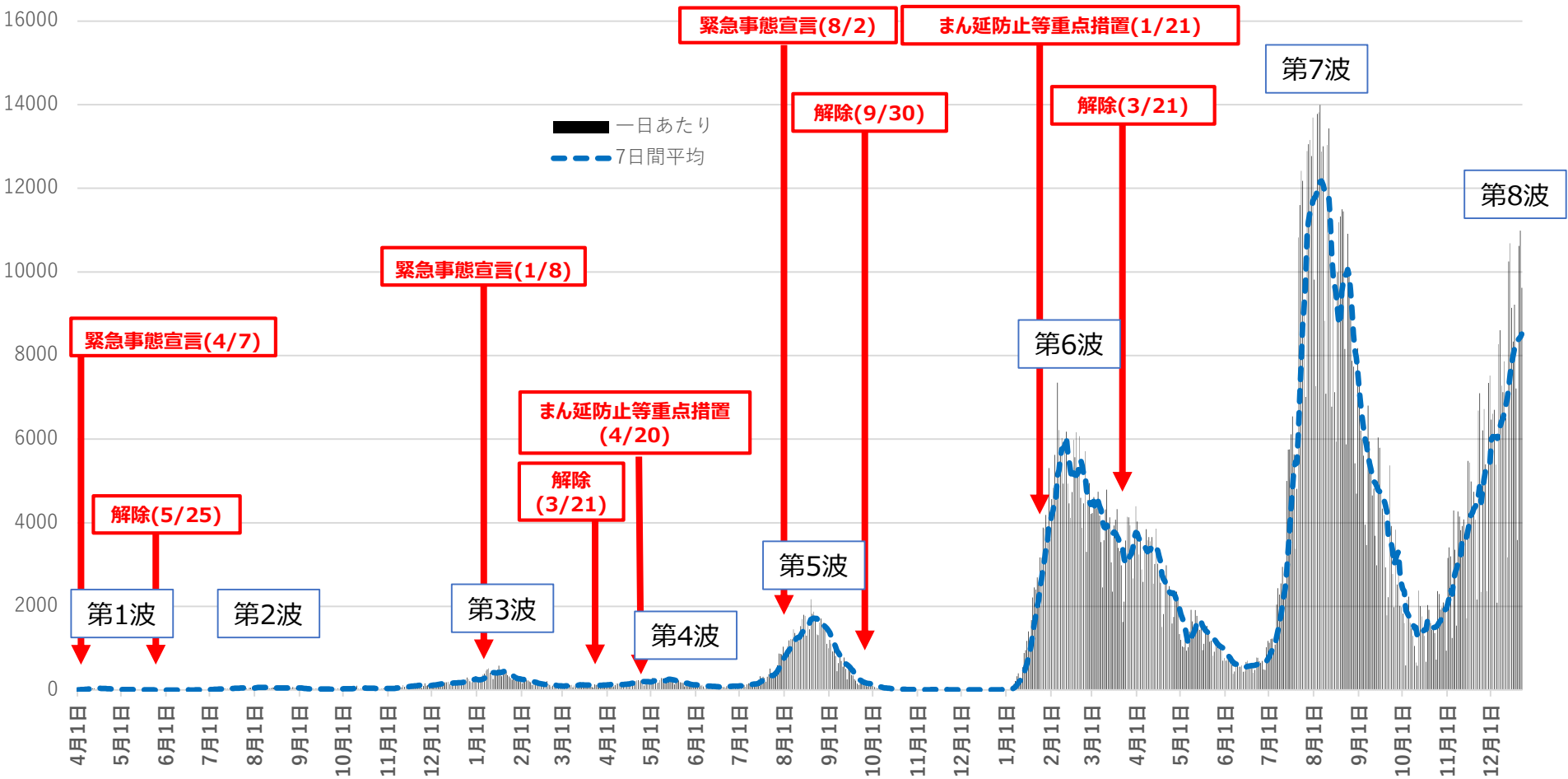
# 陽性者数の推移(日別)(2022.1.1~)

資料3-1



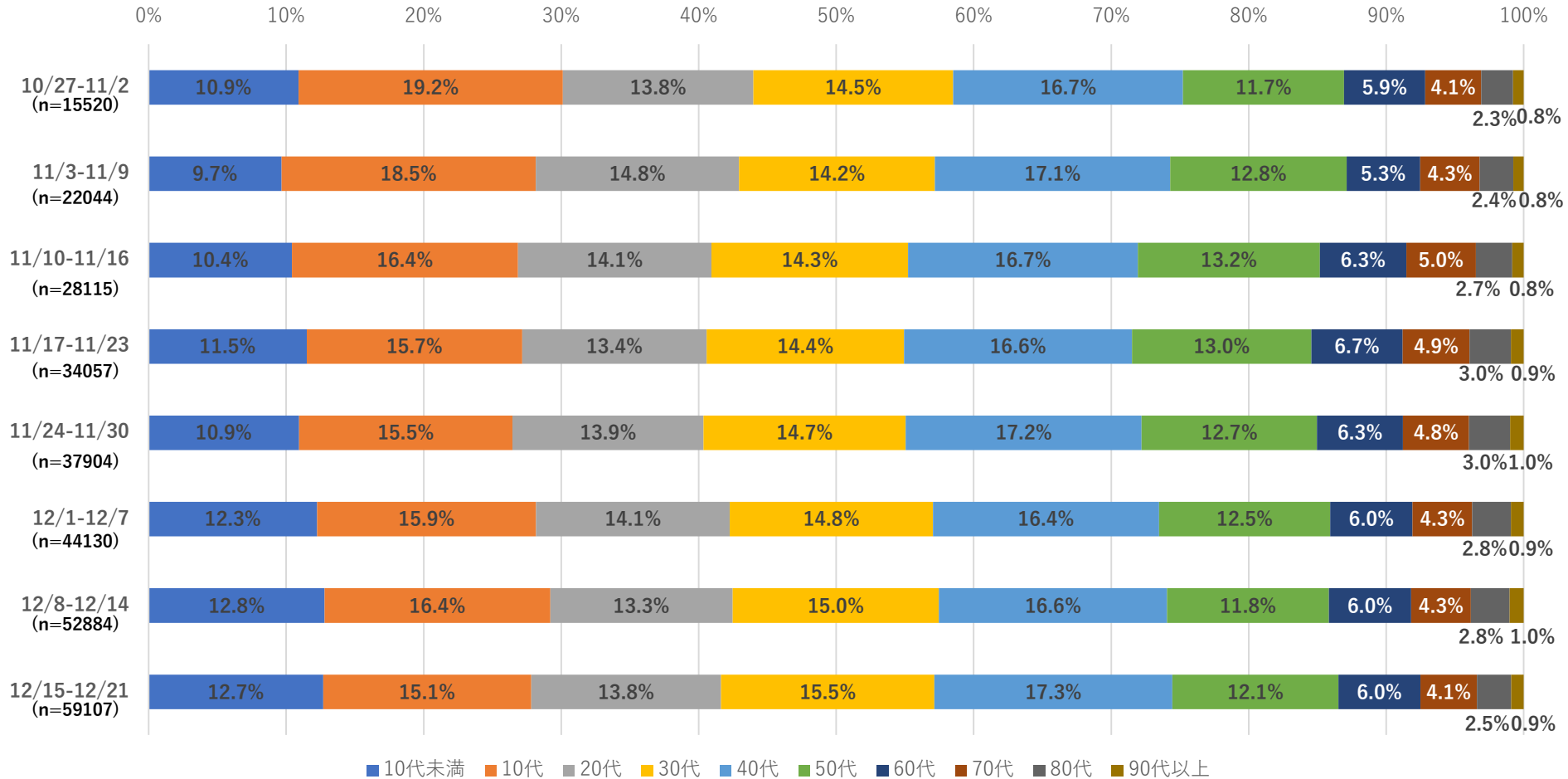
# 陽性者数の推移(日別)(2020.4.1~)

資料3-2



# 年齢別感染者の推移(発表日ベース)【構成比】

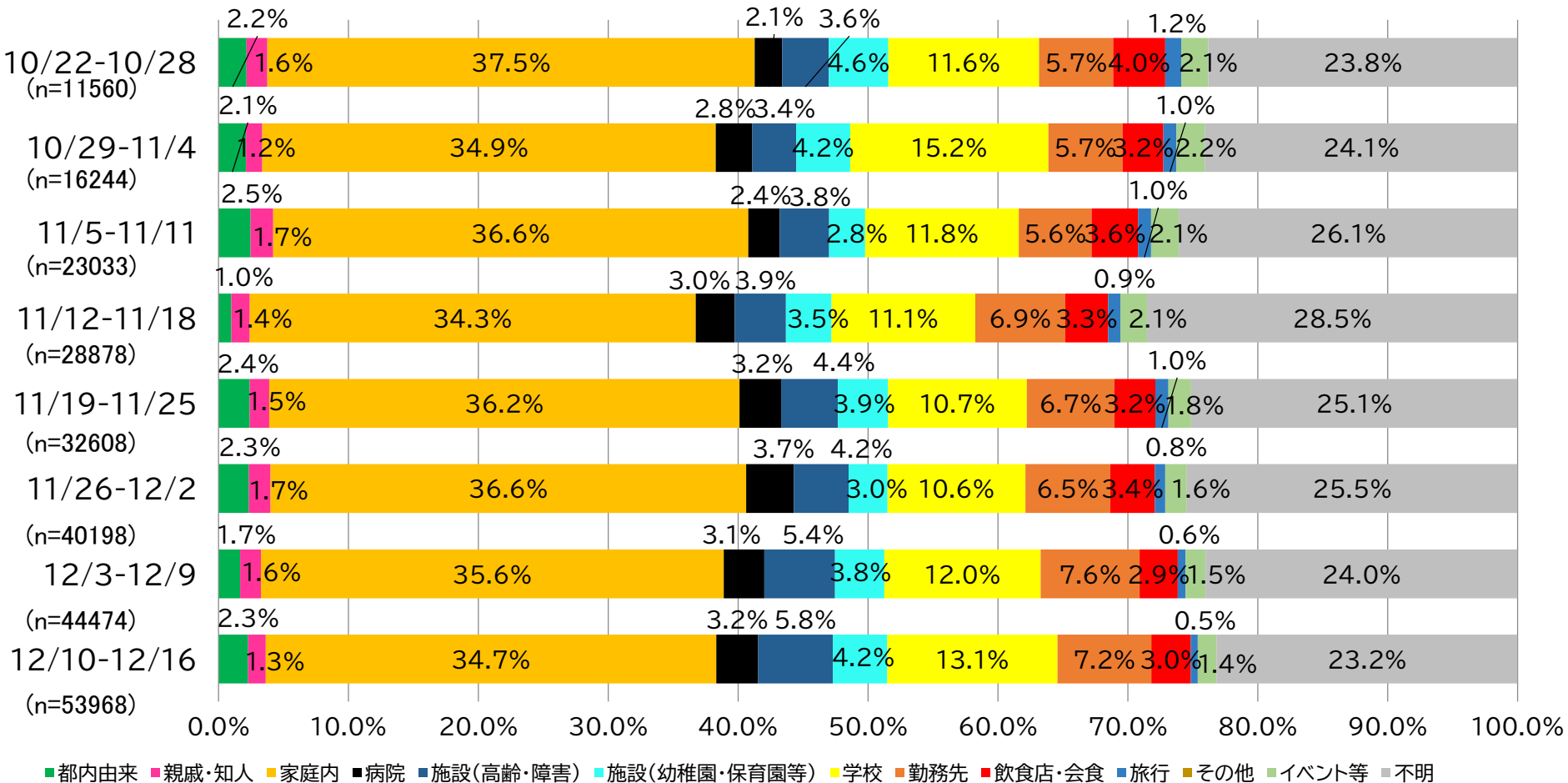
資料4-1





# 感染経路推移(発表日ベース)【構成比】

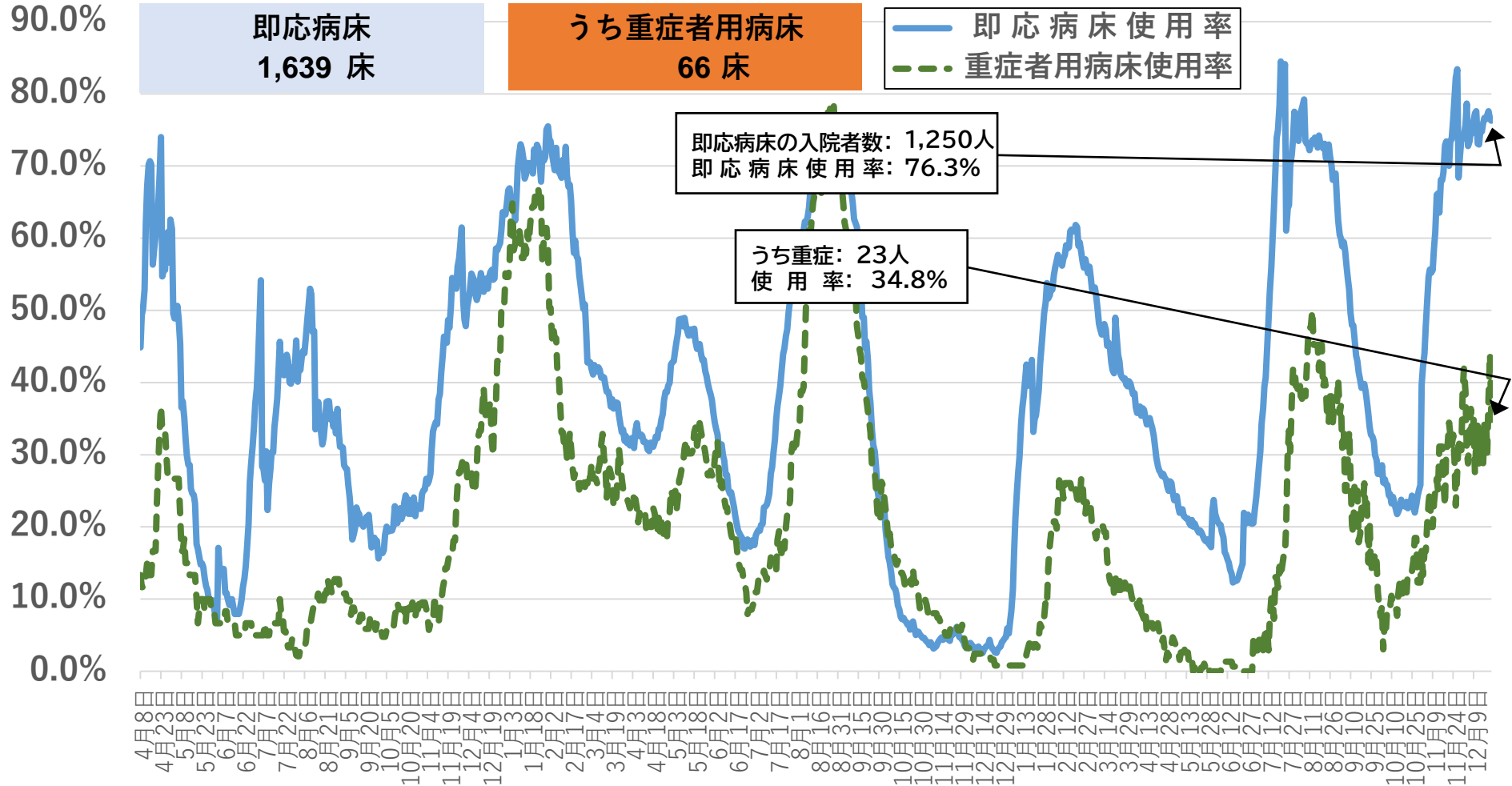
資料4-2



※全数届け出の見直し以降はHER-SYSに届出のあった数及び電子申請で登録のあった数

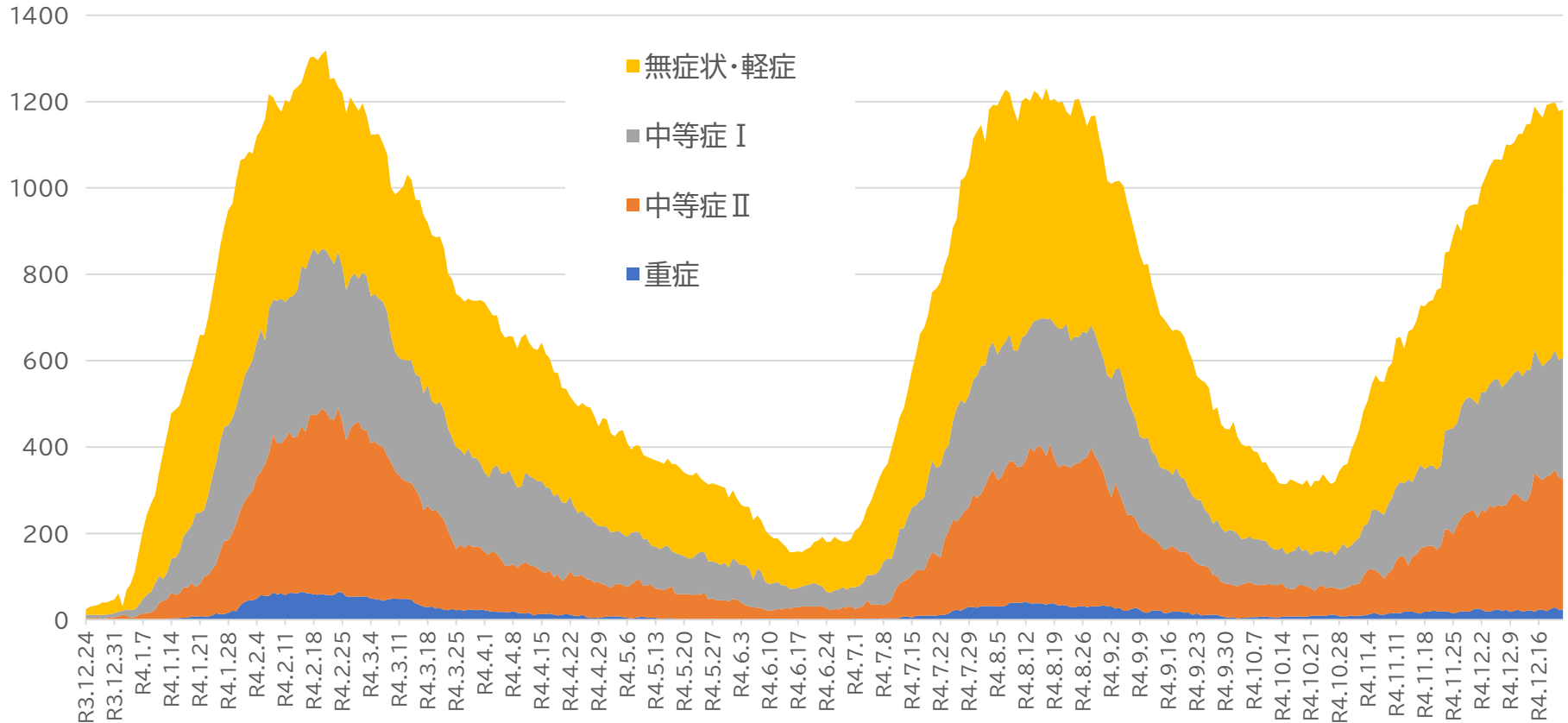
# 即応病床使用率の推移

資料5-1



# 入院患者症状別推移

資料 5 - 2



※MCSを通じた医療機関からの報告を集計したもの ※集計する時点によって、HP上で公表している数値と異なる場合がある

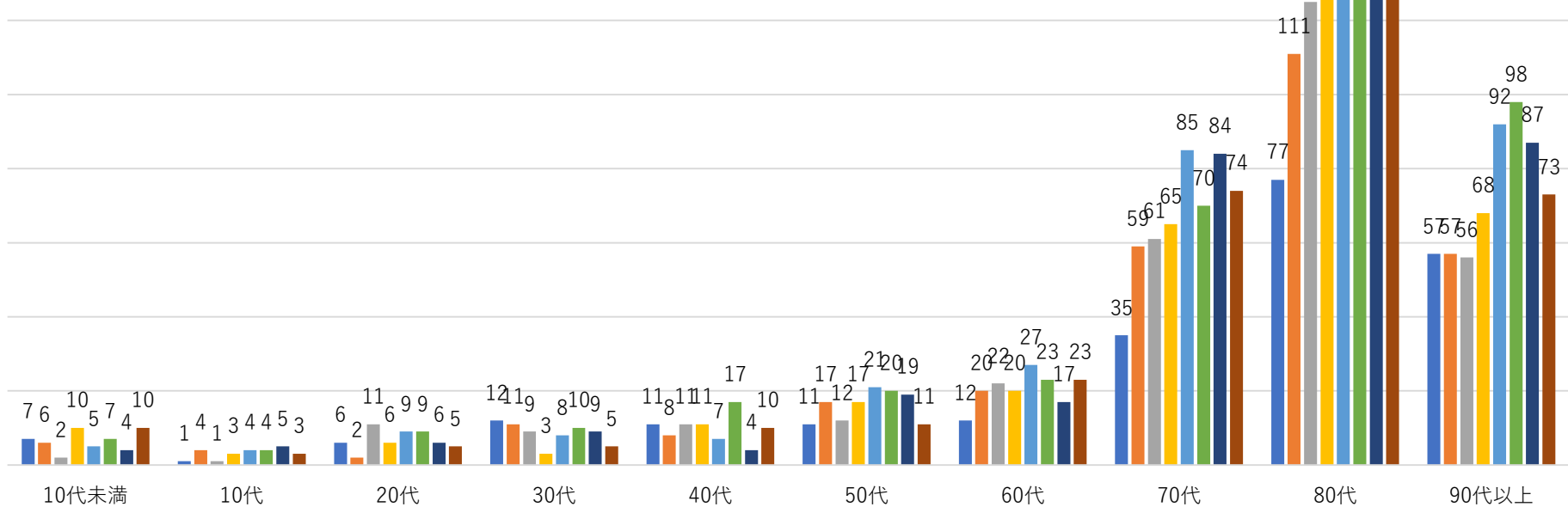
# 年齢別入院患者数推移(入院調整日ベース集計(フロー))

資料5-3

■ 10/28~11/3 ■ 11/4~11/10 ■ 11/11~11/17 ■ 11/18~11/24 ■ 11/25~12/1 ■ 12/2~12/8 ■ 12/9~12/15 ■ 12/16~12/22

※調整本部データより作成

	10/28~11/3	11/4~11/10	11/11~11/17	11/18~11/24	11/25~12/1	12/2~12/8	12/9~12/15	12/16~12/22
10代以下	8	10	3	13	9	11	9	13
20~30代	18	13	20	9	17	19	15	10
40~50代	22	25	23	28	28	37	23	21
60代以上	181	247	264	293	338	348	327	317
	229	295	310	343	392	415	374	361

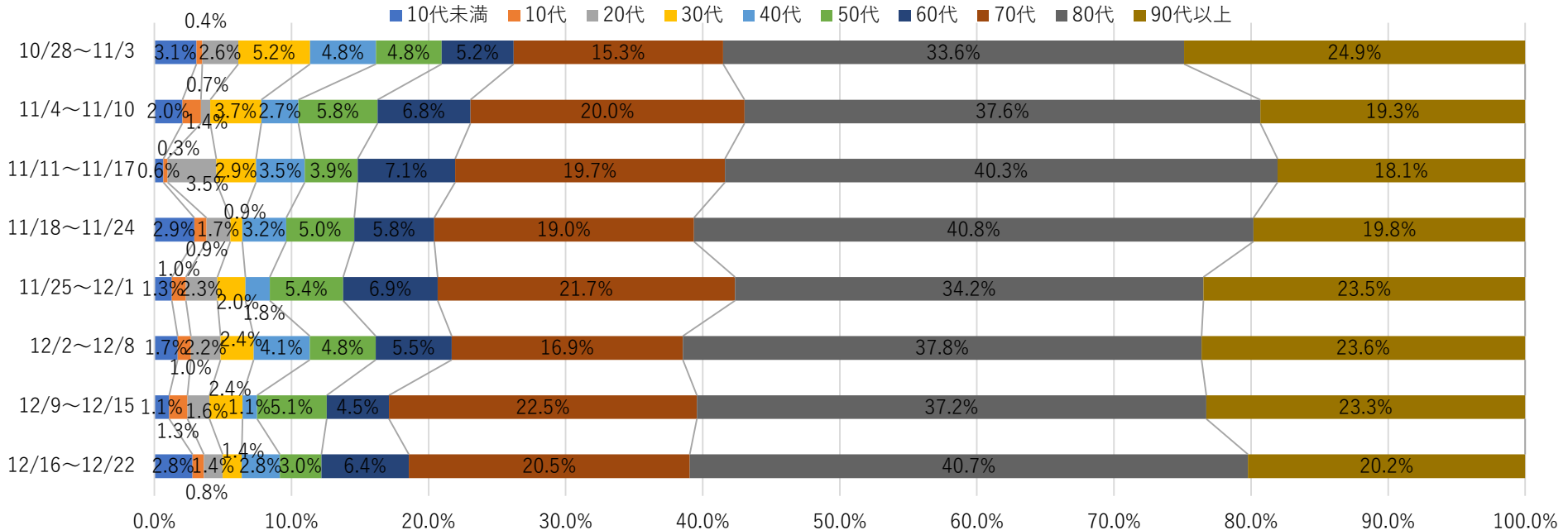


# 年齢別入院患者構成比の推移(入院調整日ベース集計(フロー))

資料5-4

※調整本部データより作成

	10/28~11/3	11/4~11/10	11/11~11/17	11/18~11/24	11/25~12/1	12/2~12/8	12/9~12/15	12/16~12/22
10代以下	3.5%	3.4%	1.0%	3.8%	2.3%	2.7%	2.4%	3.6%
20~30代	7.9%	4.4%	6.5%	2.6%	4.3%	4.6%	4.0%	2.8%
40~50代	9.6%	8.5%	7.4%	8.2%	7.1%	8.9%	6.1%	5.8%
60代以上	79.0%	83.7%	85.2%	85.4%	86.2%	83.9%	87.4%	87.8%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



# その他参考指標の推移

資料6-1

項目	12月8日	12月15日	前週比較	12月22日	前週比較	備考
確保病床の使用率	65.4%	69.5%	悪化	73.3%	悪化	使用中：1,250床 確保病床：1,706床
重症確保病床の使用率	11.0%	11.5%	悪化	15.8%	悪化	使用中：23床 重症確保病床：146床
重症者数（1週間平均）	22.1人	21.0人	改善	23.1人	悪化	
中等者数（1週間平均）	575.4人	616.1人	悪化	654.0人	悪化	
陽性率（1週間平均）	64.1%	70.1%	悪化	78.2%	悪化	最新値は12月21日の数値
新規陽性者数 （1週間人口10万人当たり）	611.9人	745.3人	悪化	811.3人	悪化	
（新規陽性者数）今週先週比	1.069	1.218	悪化	1.088	改善	
実効再生産数	1.019	1.058	悪化	1.025	改善	計算式=(直近7日間の新規陽性者数/ その前の7日間の新規陽性者 数)^(2※/7日)※平均世代時間を2日 と仮定"

# 感染状況1都3県比較（1222時点）

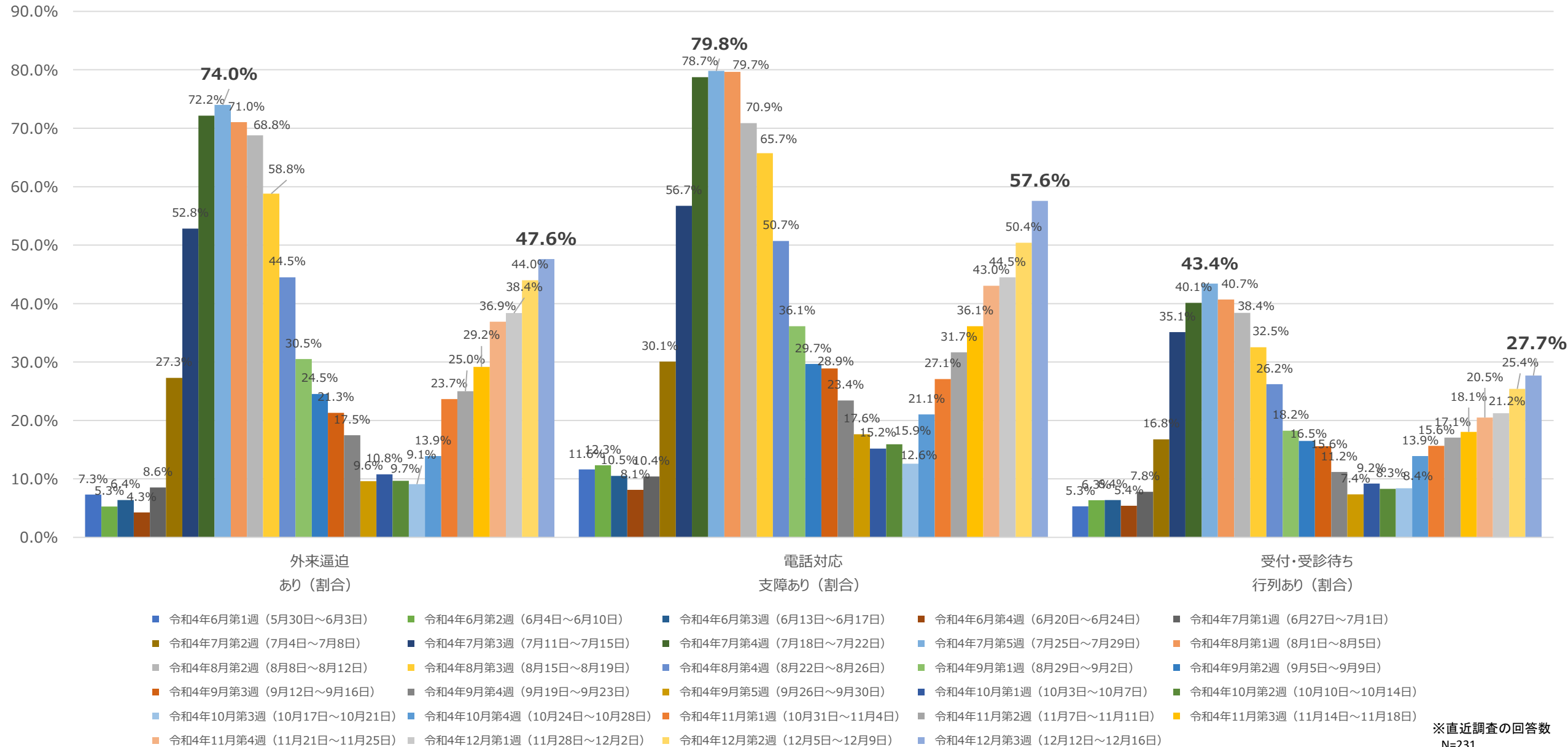
資料6-2

	医療提供体制などの負荷			監視体制	感染の状況	
	病床のひっ迫具合			PCR陽性率	新規報告数 (1週間人口10万人当たり)	直近1週間と 先週1週間の 比較
	確保病床の使用率	うち重症確保病床 の使用率	入院率			
埼玉県	73.3% (1,250/1,706)	15.8% (23/146)	2.5%	78.2%	811.3人	1.088
東京都	51.8% (3,749/7,231)	43.4% (483/1,114)	3.2%	39.9%	821.5人	1.114
神奈川県	81.6% (1,796/2,200)	25.7% (54/210)	2.6%	公表停止	747.2人	1.103
千葉県	58.6% (1,112/1,899)	10.2% (17/166)	4.3%	※12/17時点 35.2%	809.3人	1.100

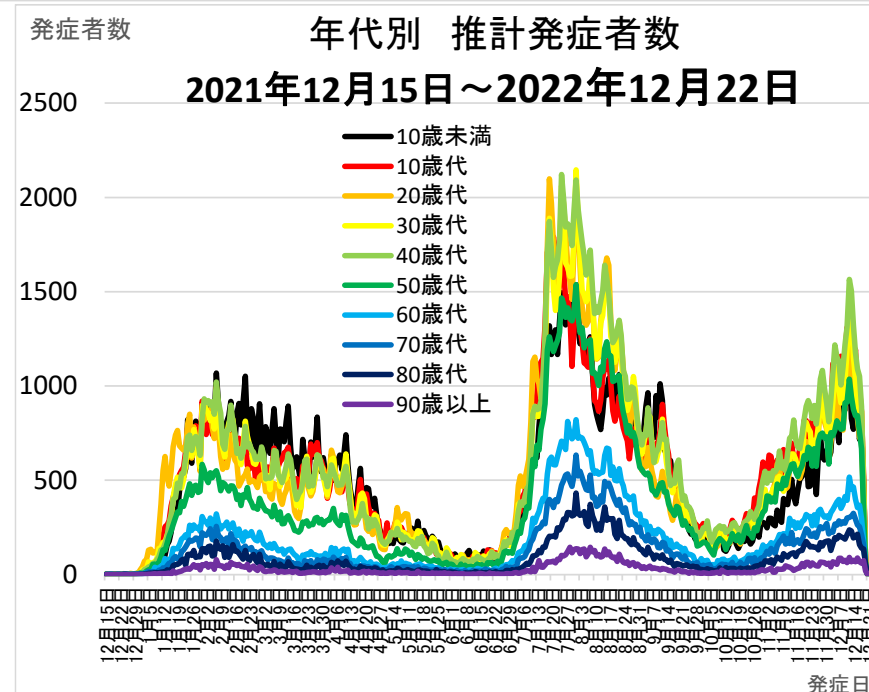
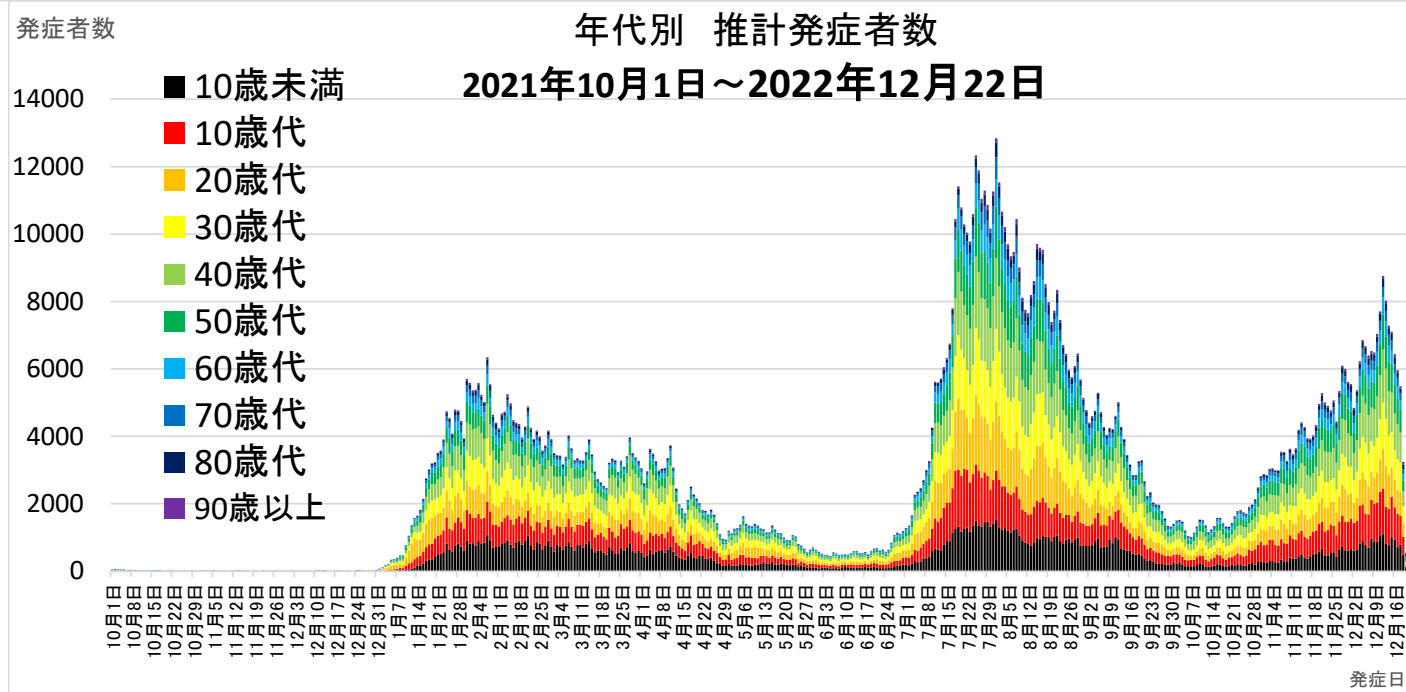
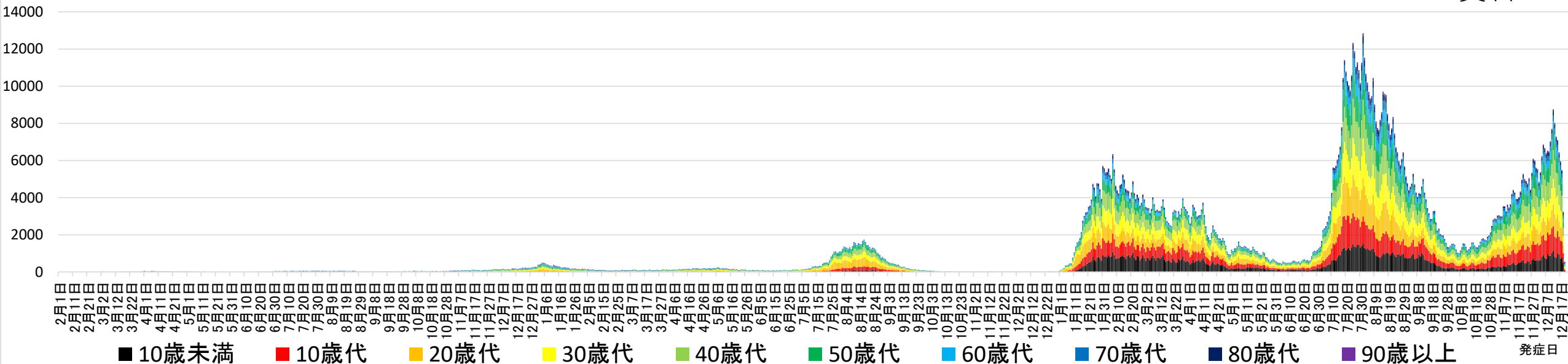
※各自治体HP等による ※入院率は直近7日間の新規陽性者数を用いて算定している

# 診療・検査医療機関に関するアンケート

診療・検査医療機関G-MISアンケート集計

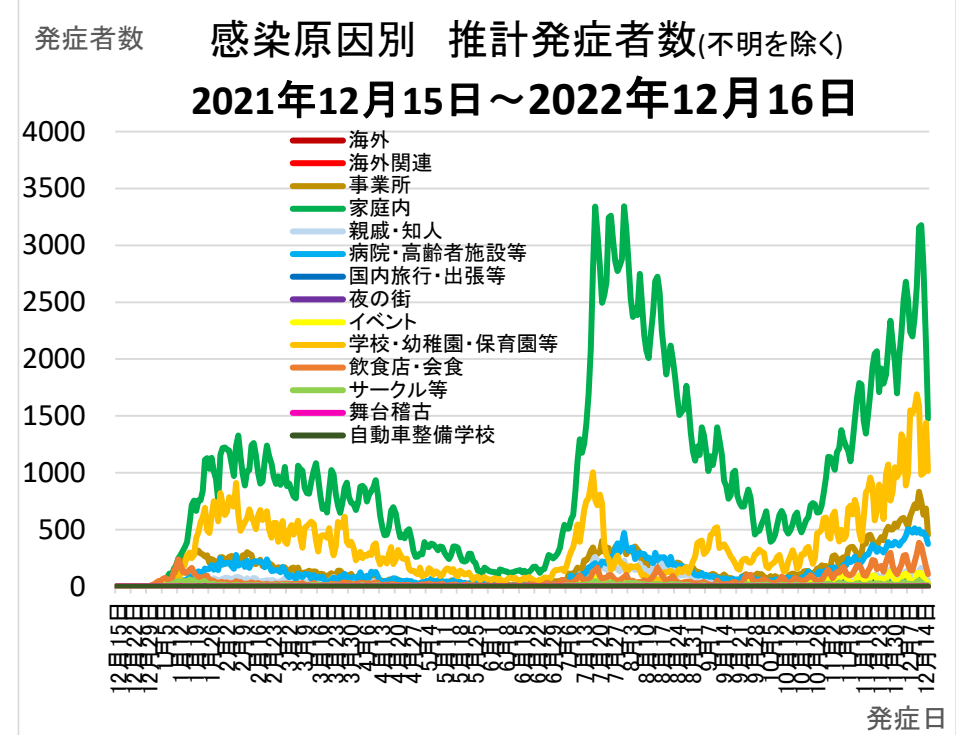
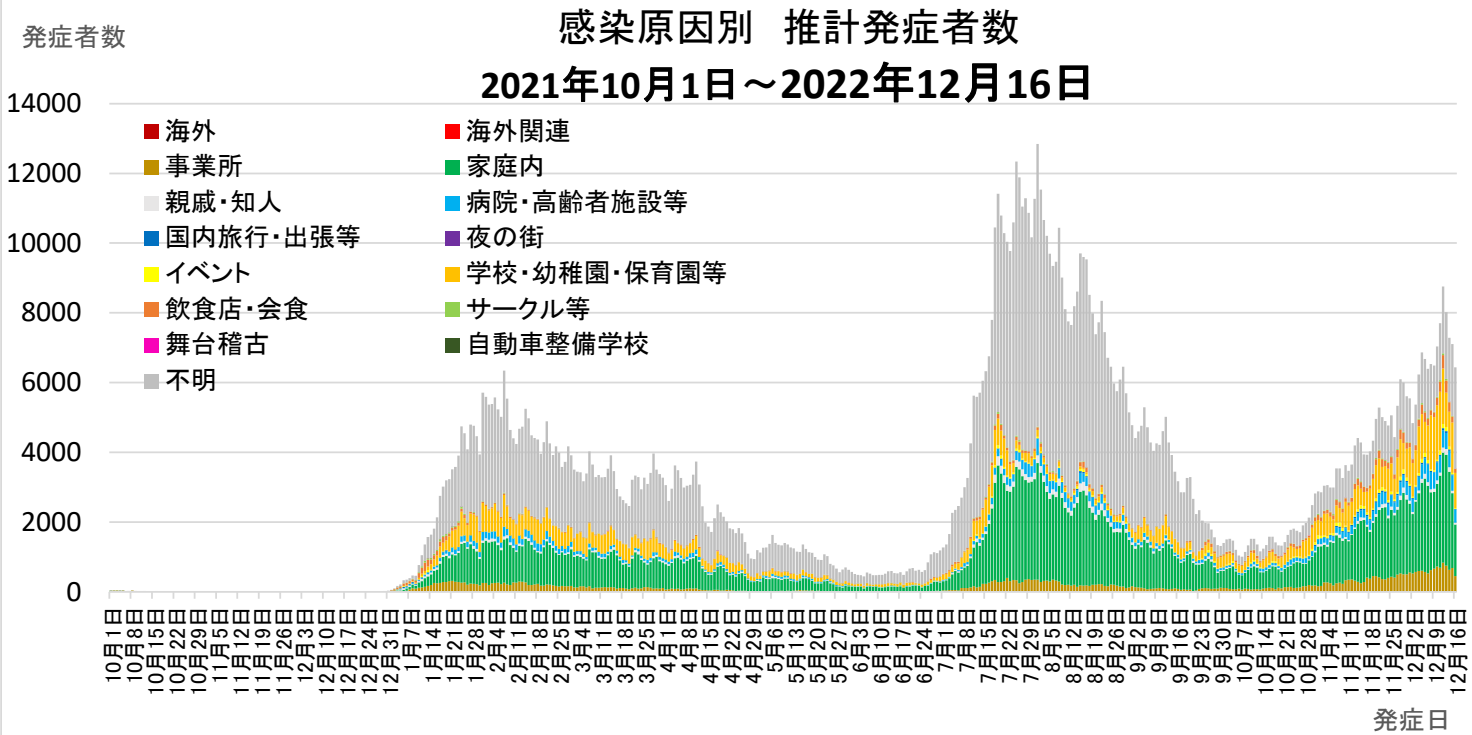
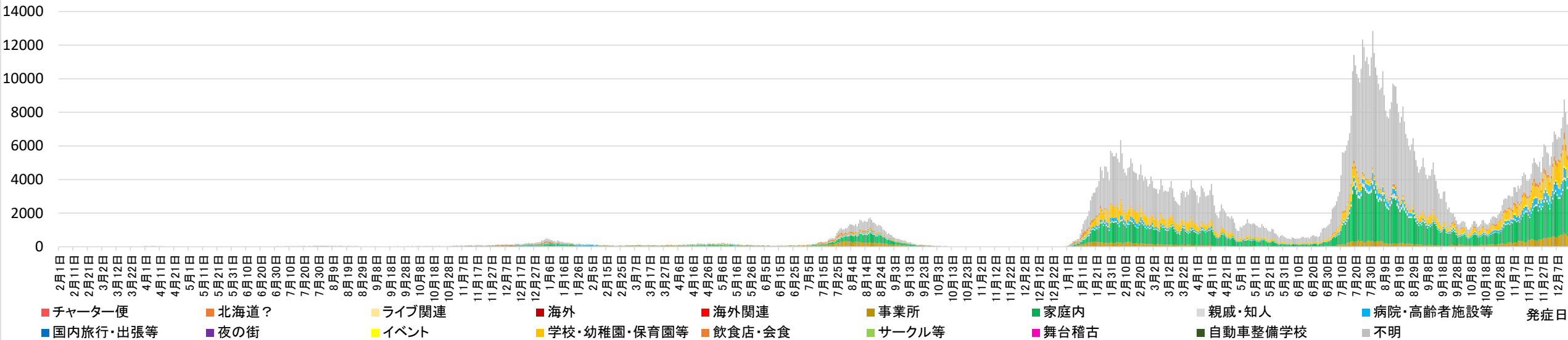






※ 2022年9月26日（全数把握見直し）以降、「発生届対象者（4類型）」以外については「電子申請」に基づき発症者数を算出

# 感染原因別 推計発症者数(2020年2月1日~2022年12月16日)

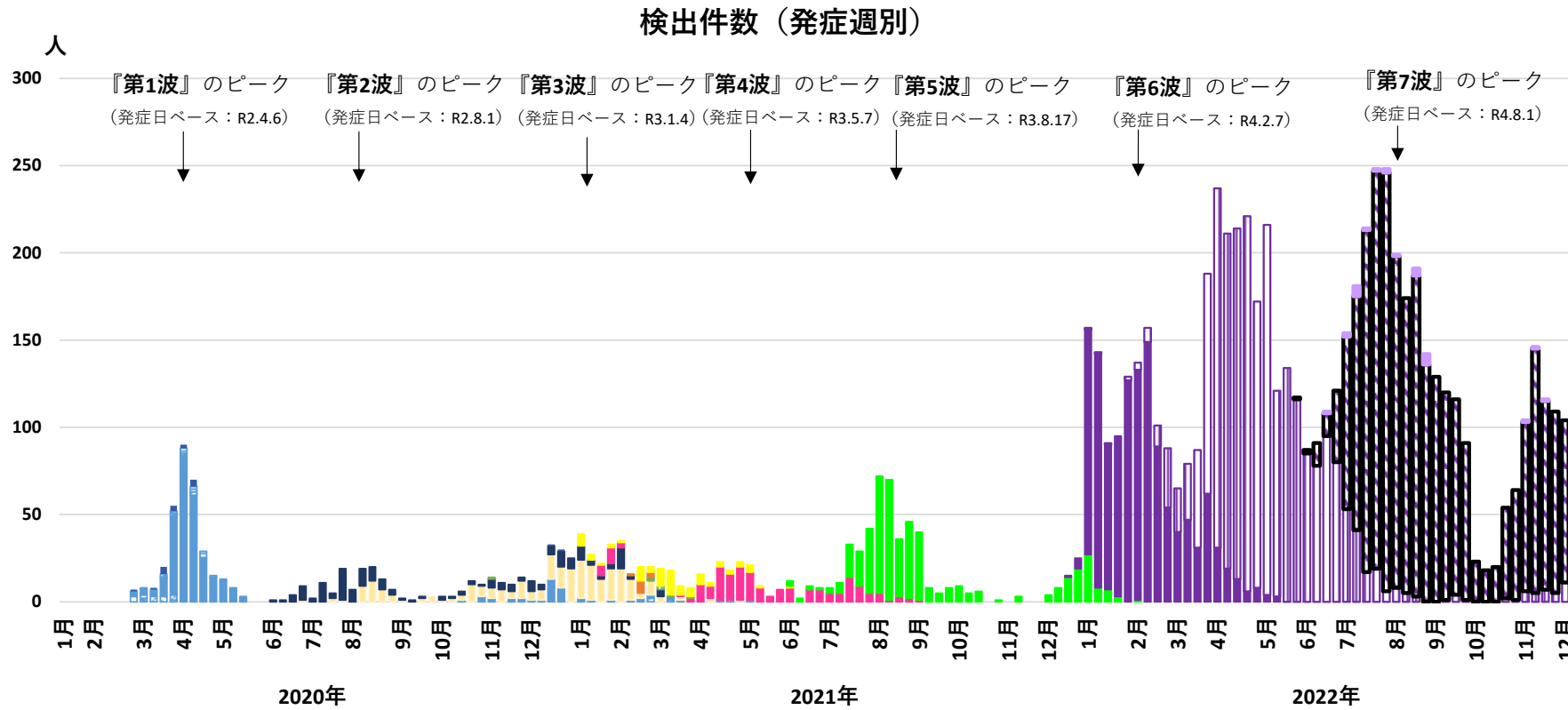


※ 2022年9月26日(全数把握見直し)以降、「発生届対象者(4類型)」以外については「電子申請」に基づき発症者数を算出

# COVID-19のゲノム分析状況（発症日（週）別）①

12/22現在

（埼玉県衛生研究所（技術協力：国立感染症研究所（病原体ゲノム解析研究センター）））



- R.1（E484K単独）
- ★ ■ B.1.1.7（N501Y アルファ株）
- P.1（N501Y ガンマ株）
- B.1.351（N501Y ベータ株）
- A（武漢株）
- B（欧州系統）
- B.1（欧州系統）
- ★ ■ B.1.1（欧州系統）
- ★ ■ B.1.1.284（国内第2波主流系統）
- ★ ■ B.1.1.214（国内第3波主流系統）
- B.1.346
- B.1.1.401
- B.1.1.285
- B.1.1.283
- B.1.1.282
- B.1.1.28
- ★ ■ B.1.617.2（L452R デルタ株）
- ★ ■ B.1.1.529（オミクロン株 BA.1系統）
- ★ ■ B.1.1.529（オミクロン株 BA.2系統）
- B.1.1.529（オミクロン株 BA.4系統）
- ★ ■ B.1.1.529（オミクロン株 BA.5系統）
- other

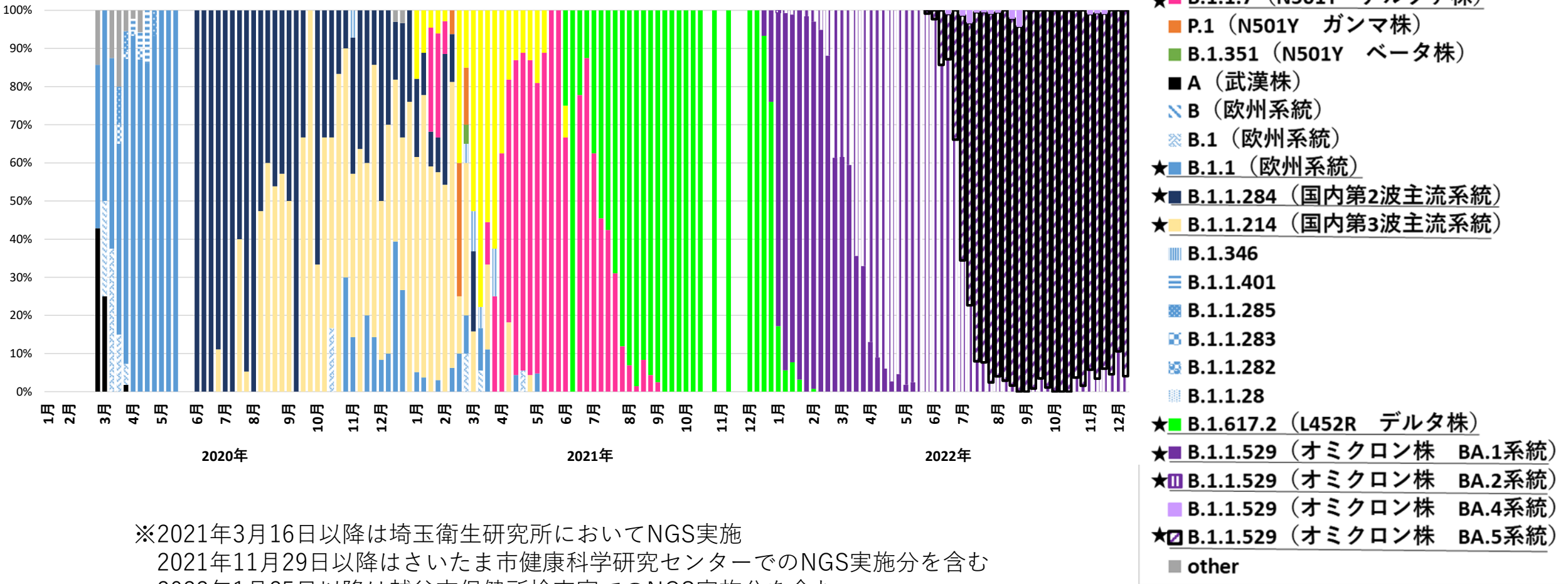
※2021年3月16日以降は埼玉衛生研究所においてNGS実施  
 2021年11月29日以降はさいたま市健康科学研究センターでのNGS実施分を含む  
 2022年1月25日以降は越谷市保健所検査室でのNGS実施分を含む  
 2022年2月7日以降は川越市保健所検査室でのNGS実施分を含む  
 2022年3月1日以降は川口市保健所検査室でのNGS実施分を含む  
 2022年3月31日以降は民間検査機関(BML)でのNGS実施分を含む

# COVID-19のゲノム分析状況（発症日（週）別（割合））①

12/22現在

（埼玉県衛生研究所（技術協力：国立感染症研究所（病原体ゲノム解析研究センター）））

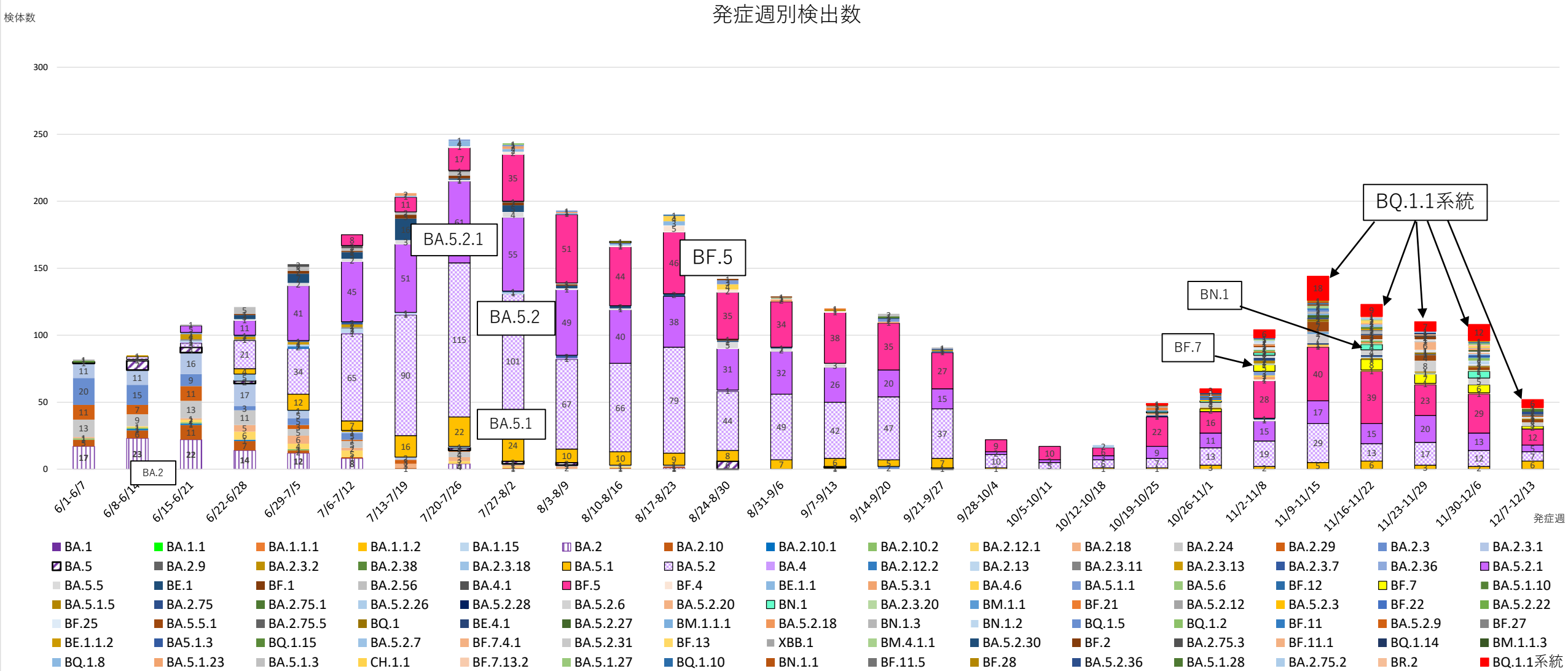
検出割合（発症日別）



※2021年3月16日以降は埼玉衛生研究所においてNGS実施  
 2021年11月29日以降はさいたま市健康科学研究センターでのNGS実施分を含む  
 2022年1月25日以降は越谷市保健所検査室でのNGS実施分を含む  
 2022年2月7日以降は川越市保健所検査室でのNGS実施分を含む  
 2022年3月1日以降は川口市保健所検査室でのNGS実施分を含む  
 2022年3月31日以降は民間検査機関(BML)でのNGS実施分を含む

# 【第7波以降の変異株（全亜型）の検出数の推移】

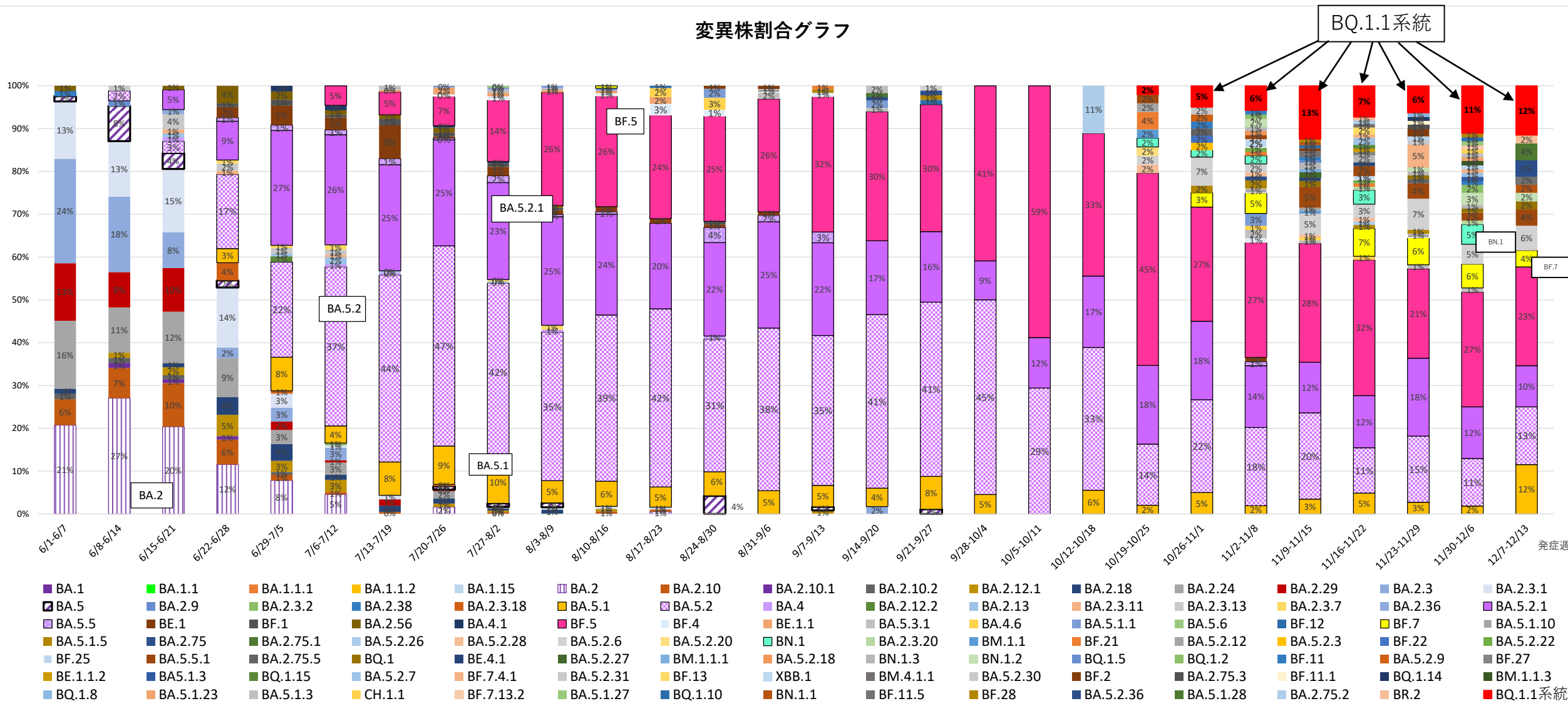
## 発症日（週）別



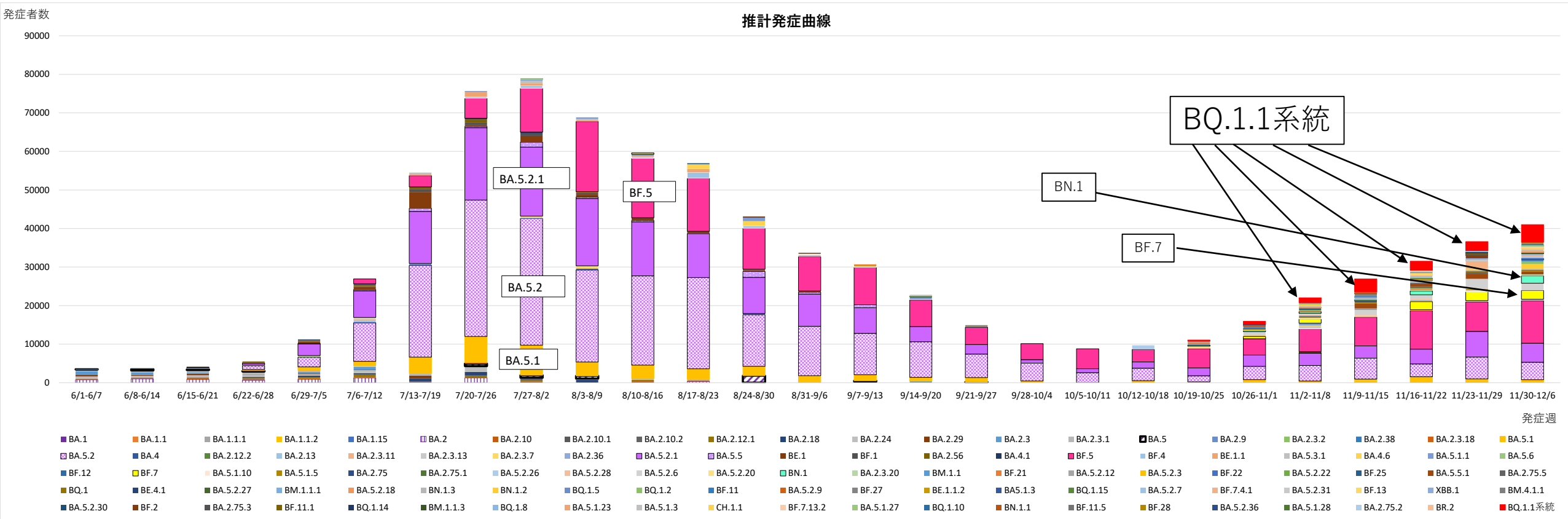
# 【第7波以降の変異株（全亜型）の検出割合の推移】

## 発症日（週）別

変異株割合グラフ



# 第7波以降の発症曲線に各変異株の占める割合を当てはめたイメージ図





# R346T変異を有する株

## BA.5系統

BQ.1.1    BQ.1.1.3    BQ.1.1.4  
BQ.1.1.18  
BF.7    BF.7.4.1    BF.7.13.2  
BF.11    BF.11.1    BF.11.5  
BE.4.1  
BA.5.1.27  
BA.5.1.28  
BA.5.2.6

## BA.2系統

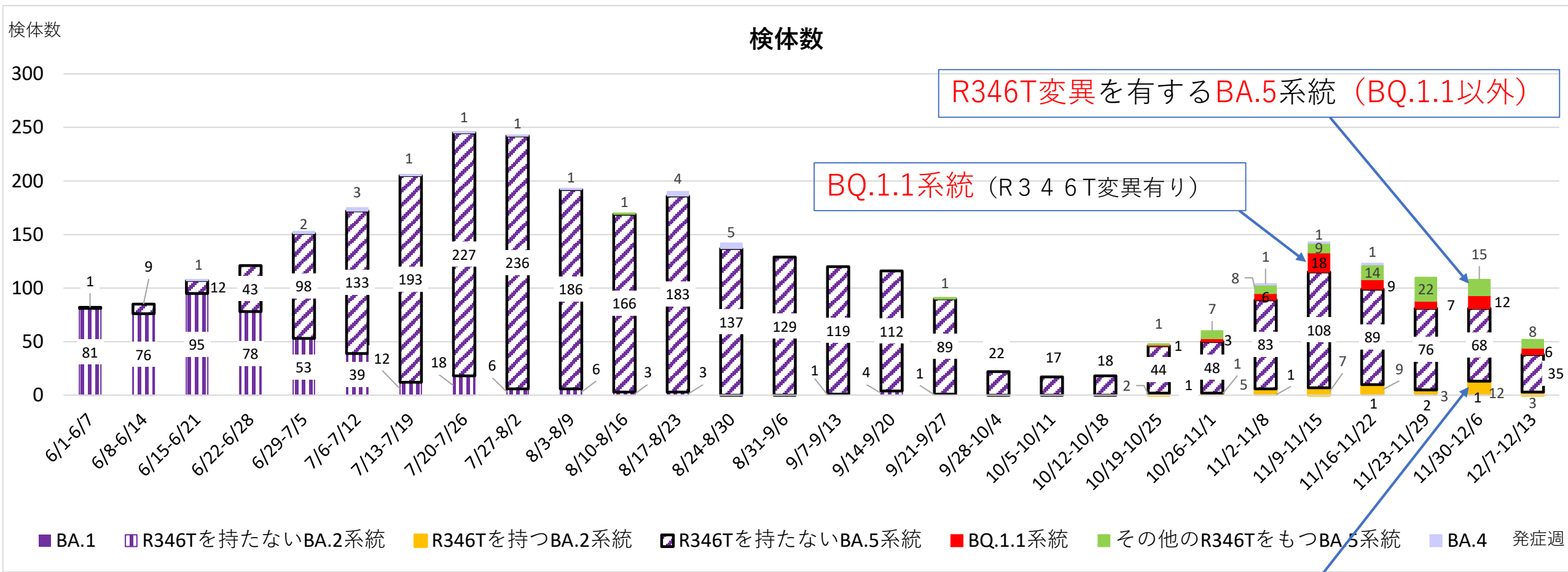
XBB.1  
BA.2.75.2  
BM.1.1    BM.1.1.1    BM.1.1.3    BM.4.1.1  
BN.1    BN.1.1    BN.1.2    BN.1.3  
BR.2  
CH.1.1



『**R346T変異の有無**』 で見た  
【第8波以降の変異株（亜型）の推移】  
発症日（週）別

- 11月以降、  
**R346T変異**を有する変異株による発症が全体としてやや増える傾向  
**BQ.1.1系統**（BA.5系統）のほか、  
**BF.7**（BA.5系統）、**BN.1**（BA.2系統）など
  - 最近の新規陽性者数の増加傾向と  
関連する可能性も考えられる。

# 【変異株（R346T変異の有無等）の検出数の推移】 発症日（週）別

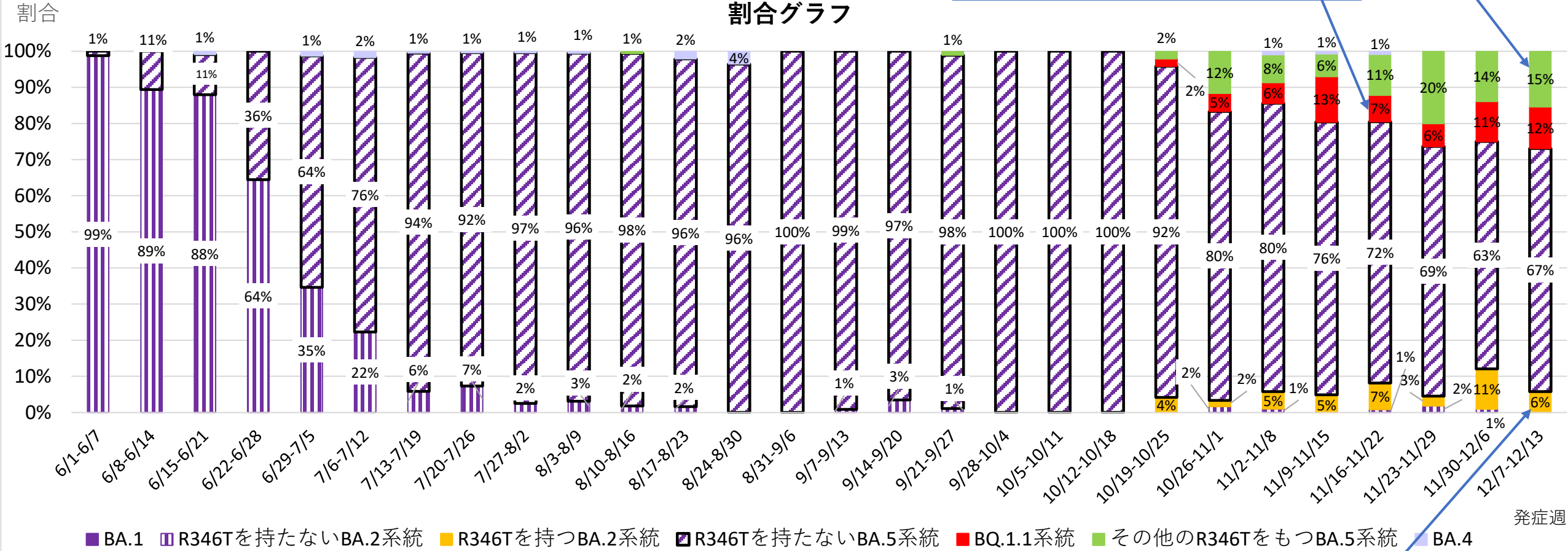


# 【第7波以降の変異株（R346T変異の有無等）の検出割合の推移】

発症日（週）別

R346T変異を有するBA.5系統（BQ.1.1以外）

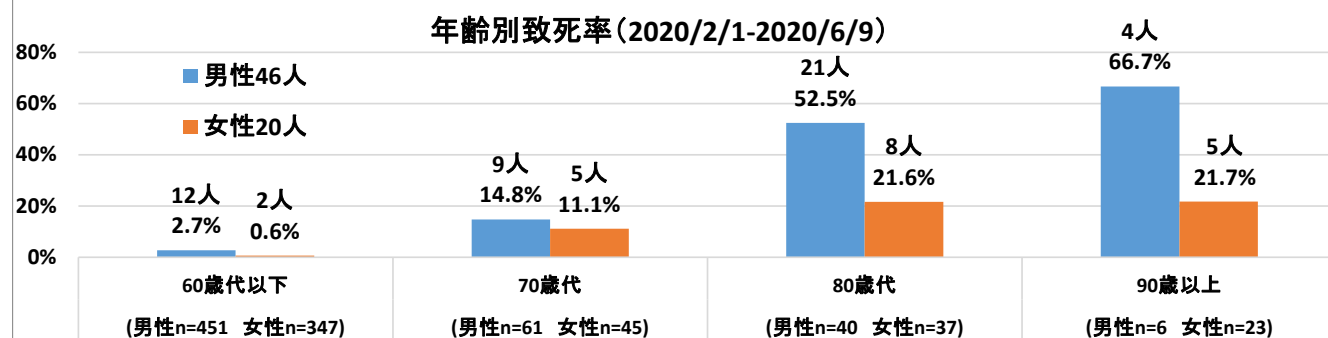
BQ.1.1系統（R346T変異有り）



R346T変異を有するBA.2系統

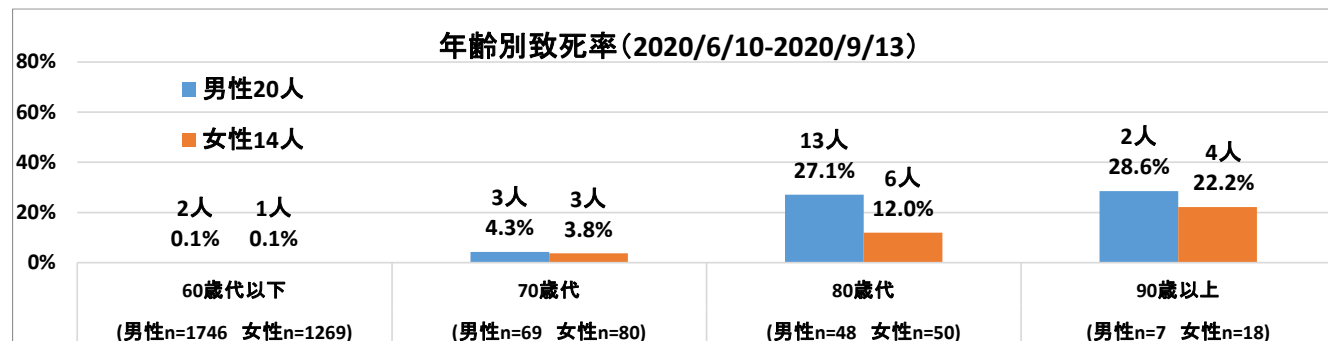
# 年齢別致死率

第1波



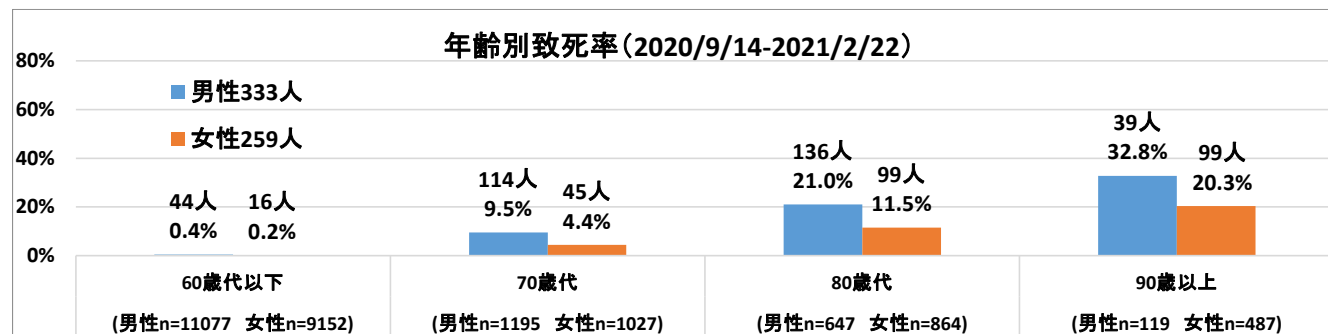
B.1.1 主流期

第2波



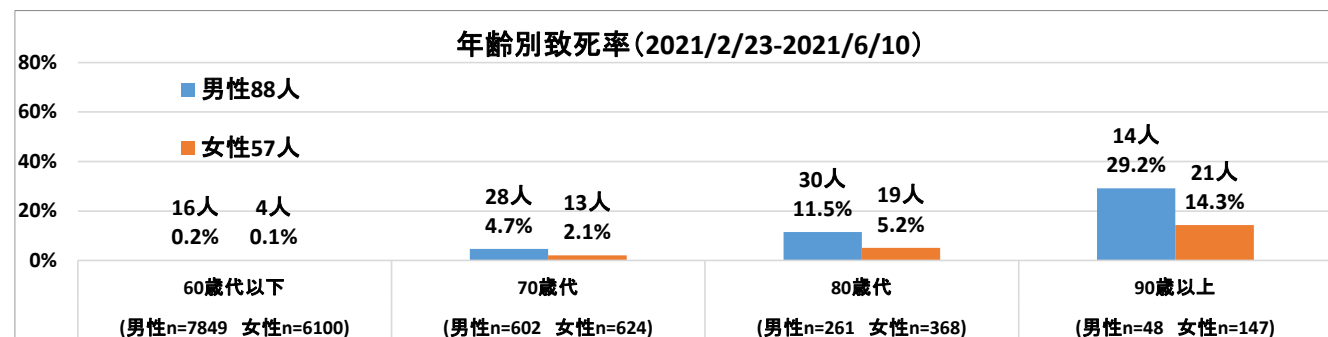
B.1.1.284 主流期

第3波



B.1.1.214 主流期

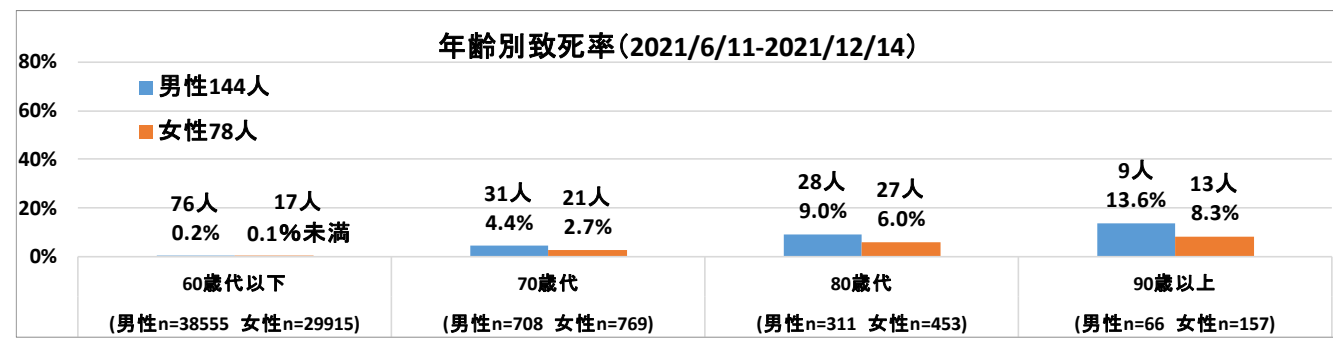
第4波



アルファ株 主流期

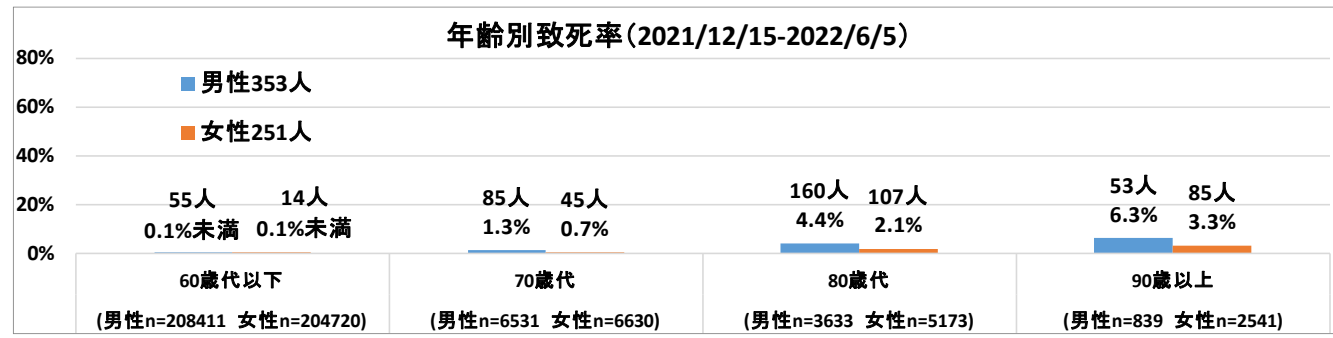
# 年齢別致死率

第5波



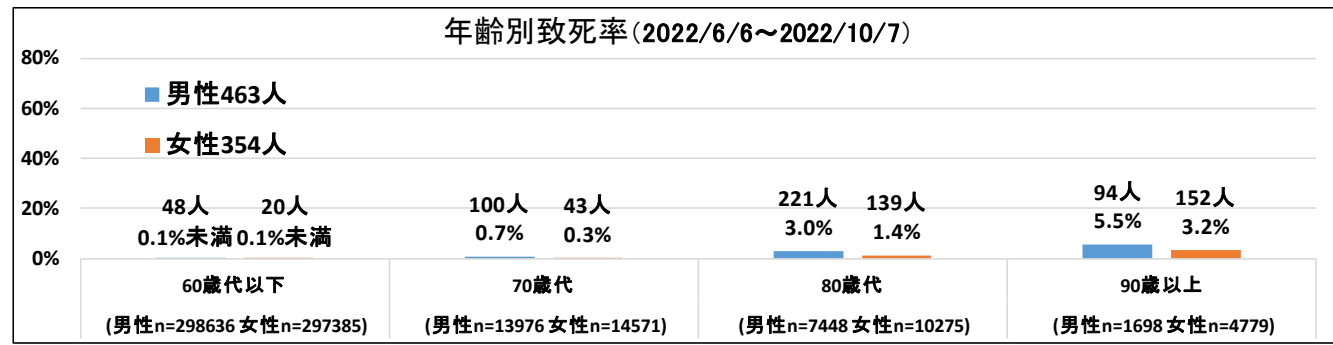
デルタ株 主流期

第6波



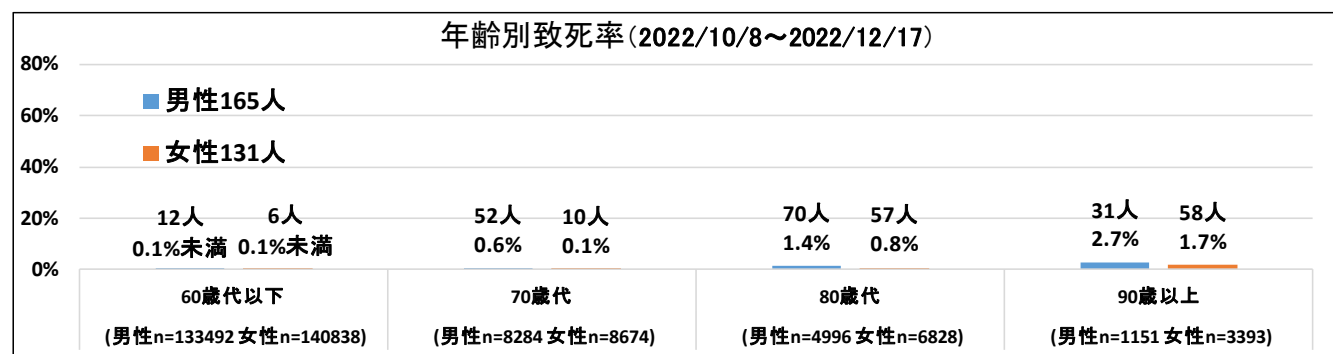
オミクロン株  
(BA.1, BA.2)  
主流期

第7波



オミクロン株  
(BA.2, BA.5)  
主流期

第8波



オミクロン株  
(BA.5 (BF.5?, BQ.1??))

○2020年2月1日～2020年6月9日（**第1波**：B.1.1 主流期）

陽性者全体の致死率は6.53%（66例/1010例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は1.75%（14例/798例）、70歳代での致死率は**13.2%**（14例/106例）、80歳代以上では**35.8%**（38例/106例）でした。

○2020年6月10日～2020年9月13日（**第2波**：B.1.1.284 主流期）

陽性者全体の致死率は1.03%（34例/3287例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は0.10%（3例/3015例）、70歳代での致死率は**4.03%**（6例/149例）、80歳代以上では**20.3%**（25例/123例）でした。

○2020年9月14日～2021年2月22日（**第3波**：B.1.1.214 主流期）

陽性者全体の致死率は2.41%（592例/24568例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は0.30%（60例/20229例）、70歳代での致死率は**7.16%**（159例/2222例）、80歳代以上では**17.6%**（373例/2117例）でした。

○2021年2月23日～2021年6月10日（**第4波**：アルファ株 主流期）

陽性者全体の致死率は0.91%（145例/15999例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は0.14%（20例/13949例）、70歳代での致死率は**3.34%**（41例/1226例）、80歳代以上では**10.2%**（84例/824例）でした。

○2021年6月11日～2021年12月14日（**第5波**：デルタ株 主流期）

陽性者全体の致死率は0.31%（222例/70934例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は0.14%（93例/68470例）、70歳代での致死率は**3.52%**（52例/1477例）、80歳代以上では**7.80%**（77例/987例）でした。

○2021年12月15日～2022年6月5日（**第6波**：オミクロン株(BA.1, BA.2) 主流期）

陽性者全体の致死率は0.14%（604例/438478例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は0.02%（69例/413131例）、70歳代での致死率は**0.99%**（130例/13161例）、80歳代以上では**3.32%**（405例/12186例）でした。

○2022年6月6日～2022年10月7日（**第7波**：オミクロン株(BA.2, BA.5) 主流期）

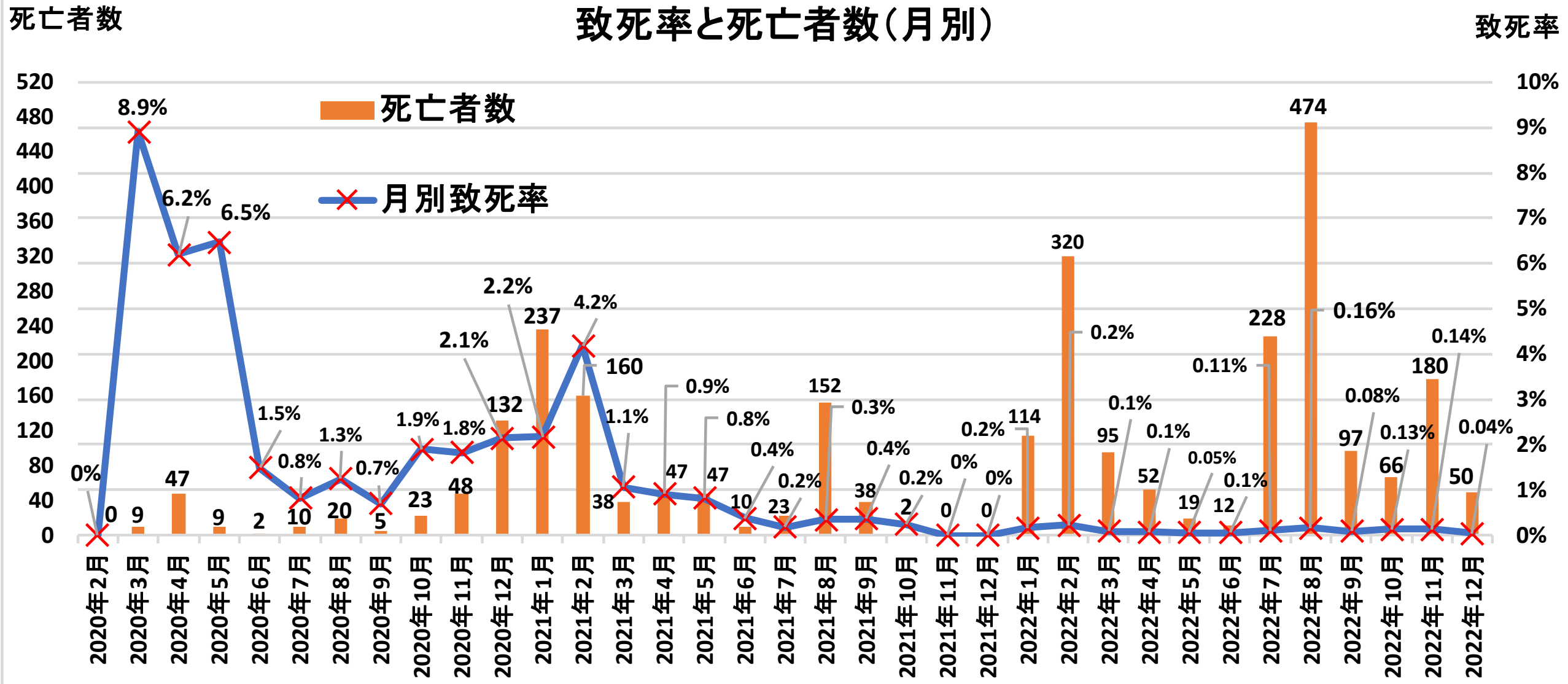
陽性者全体の致死率は0.13%（817例/648768例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は0.01%（68例/596021例）、70歳代での致死率は**0.50%**（143例/28547例）、80歳代以上では**2.50%**（606例/24200例）でした。

○2022年10月8日～2022年12月17日（**第8波**：オミクロン株(BA.5 (BF.5?, BQ.1??)）

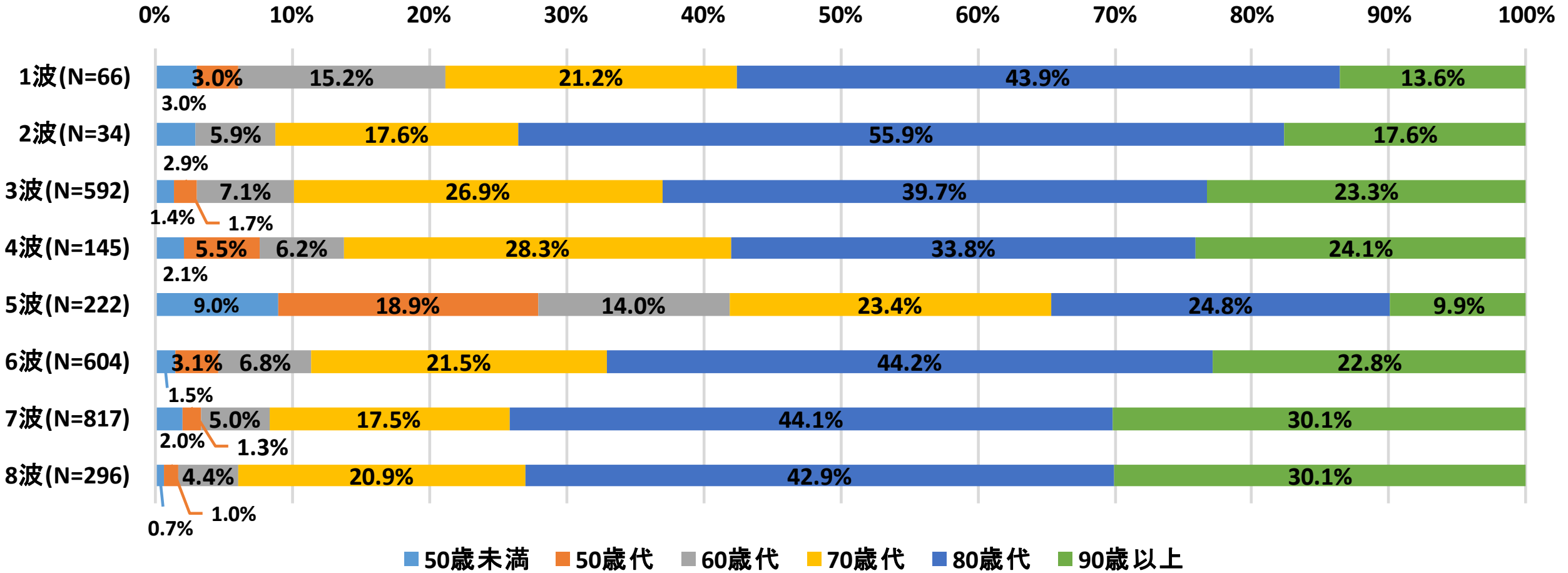
陽性者全体の致死率は0.096%（296例/307656例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は**0.007%**（18例/274330例）、70歳代での致死率は**0.37%**（62例/16958例）、80歳代以上では**1.32%**（216例/16368例）でした。

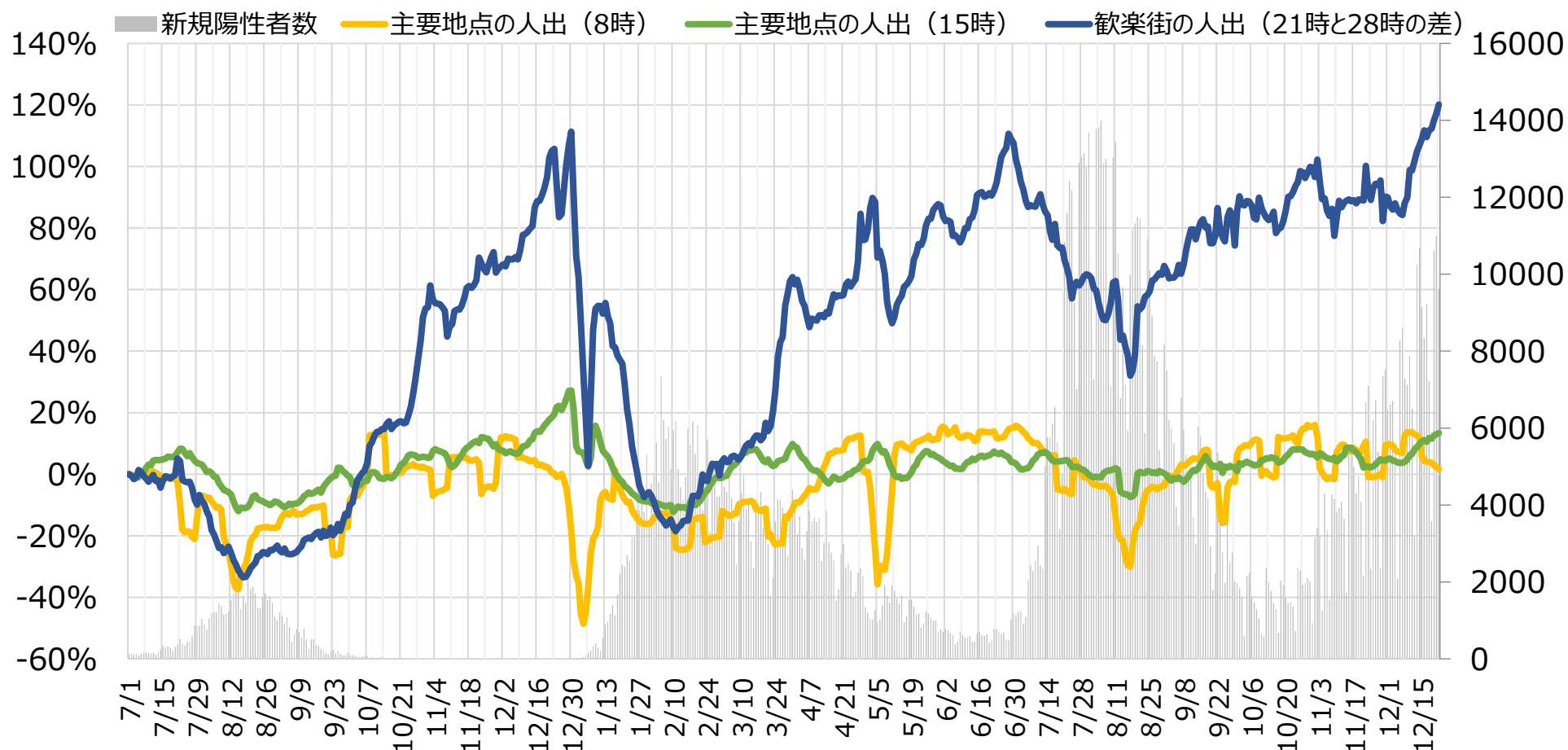




## 死亡者の年齢構成(シーズン別)



## 埼玉県の主要地点、歓楽街の人出（7月1日比、12月23日時点）



※グラフは、7月1日時点の人流の後方7日間移動平均（6月25日～7月1日の平均値）に対する、各日の後方7日間移動平均の増減率

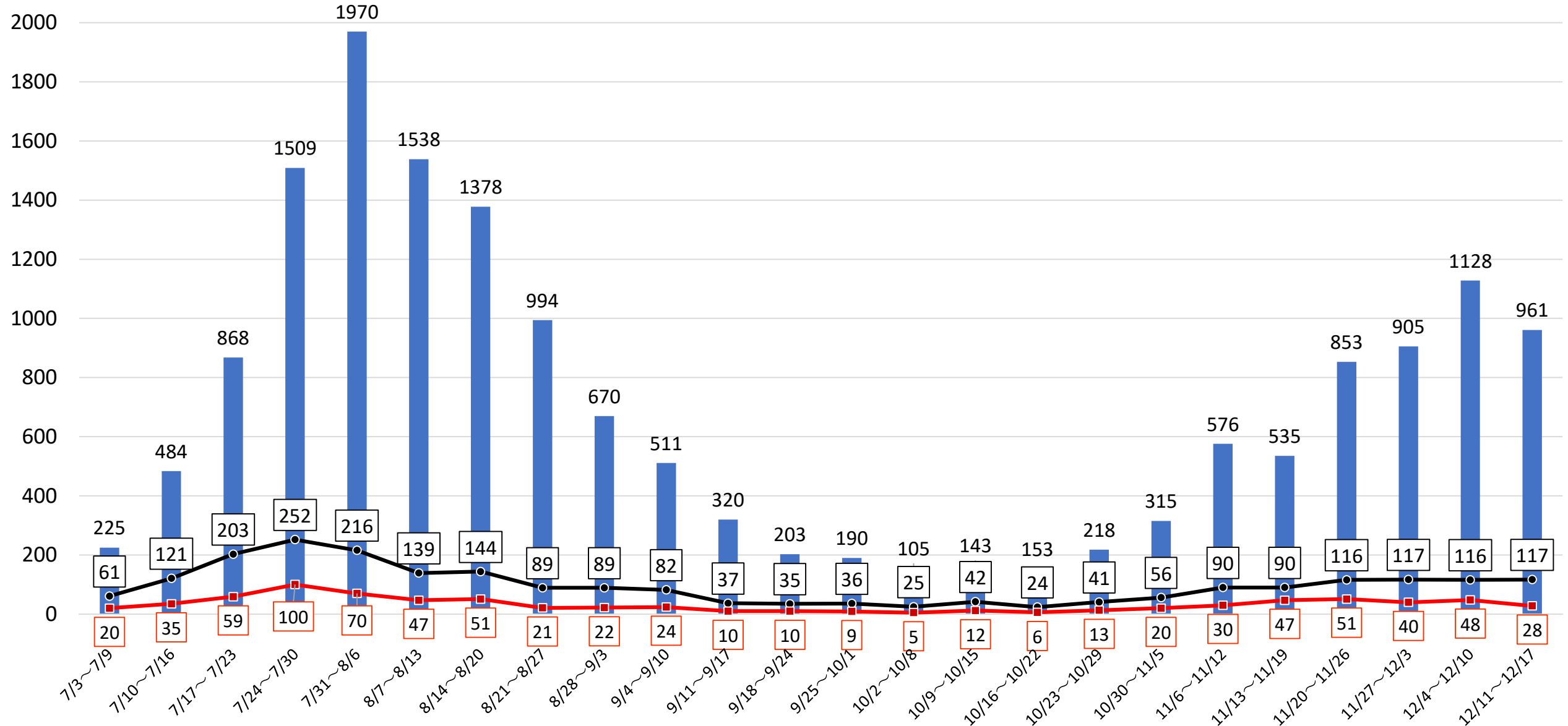
（主要地点：大宮駅西、歓楽街：南銀座（大宮駅東）／川口駅周辺）

モバイル空間統計® データ提供元：(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・インサイトマーケティング ※「モバイル空間統計®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

# 高齢者施設における感染発生状況(感染者数・施設数/週)

(人・施設)

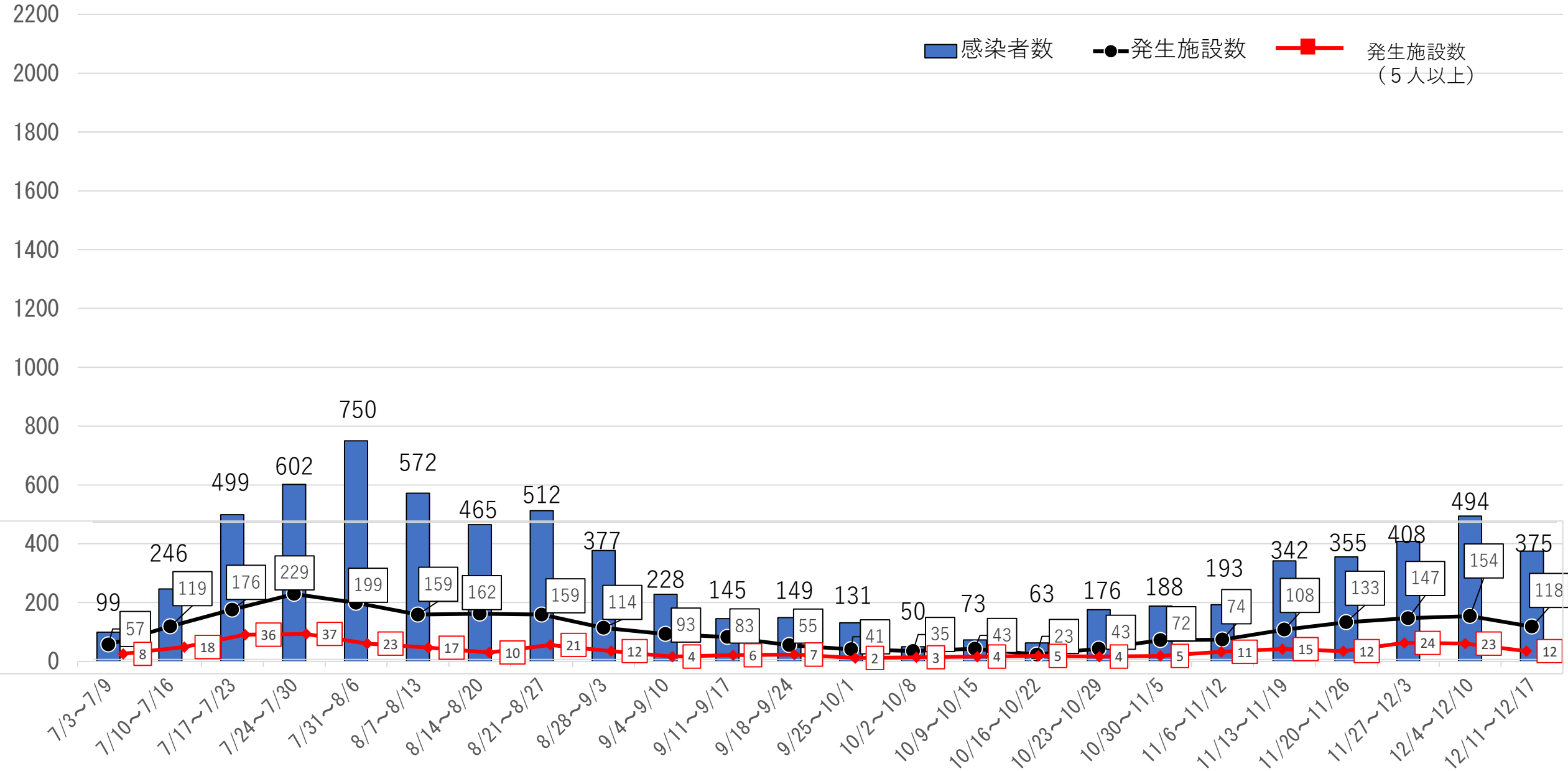
■ 感染者数 ● 発生施設数 ■ 発生施設数 (5人以上)



# 障害児者施設における感染発生状況(感染者数・施設数/週)

令和4年12月22日現在

(人・施設)

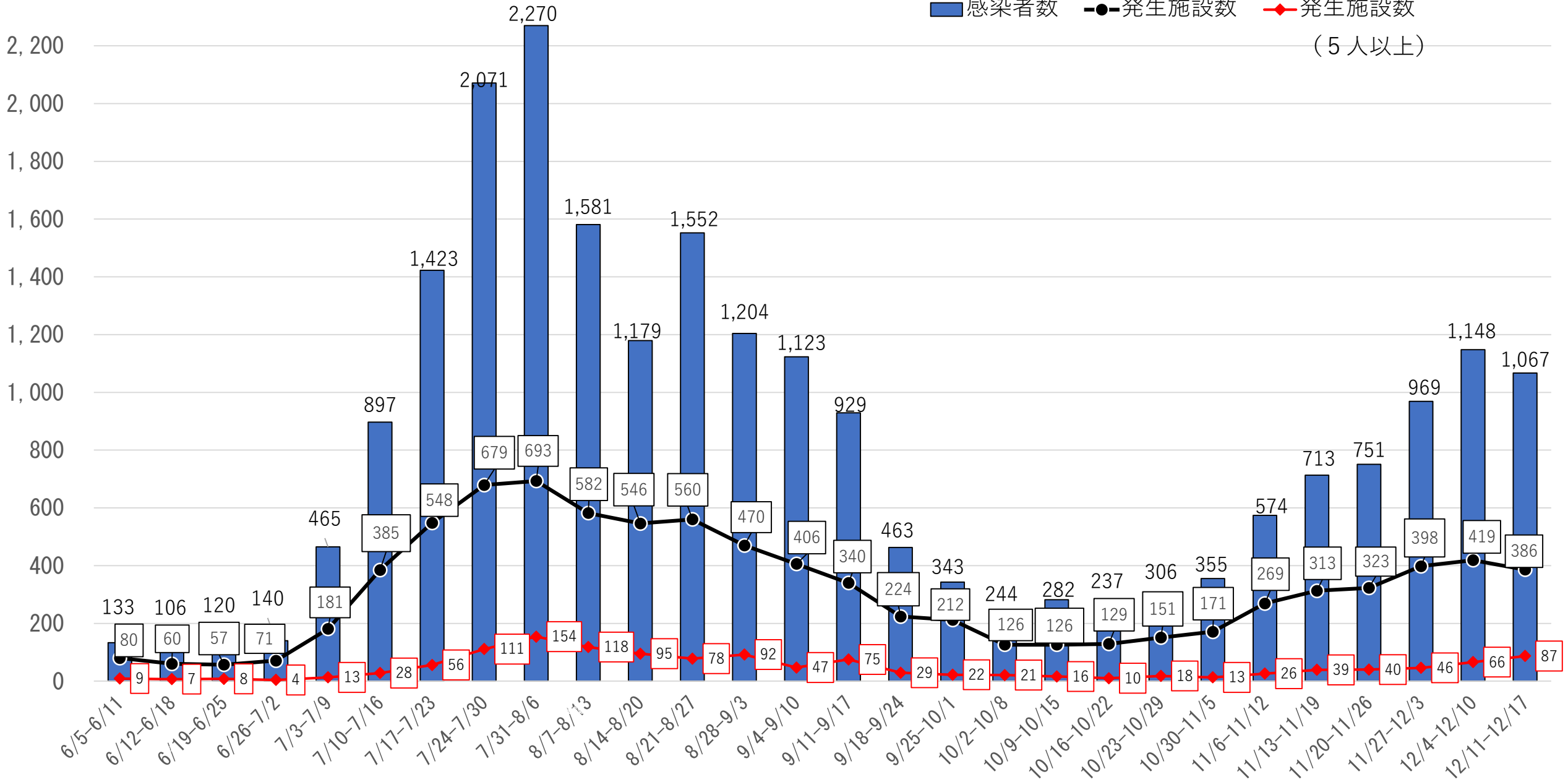


# 保育施設における感染発生状況(感染者数・施設数／週)

令和4年12月22日現在

(人・施設)

■感染者数 ●発生施設数 ◆発生施設数  
(5人以上)

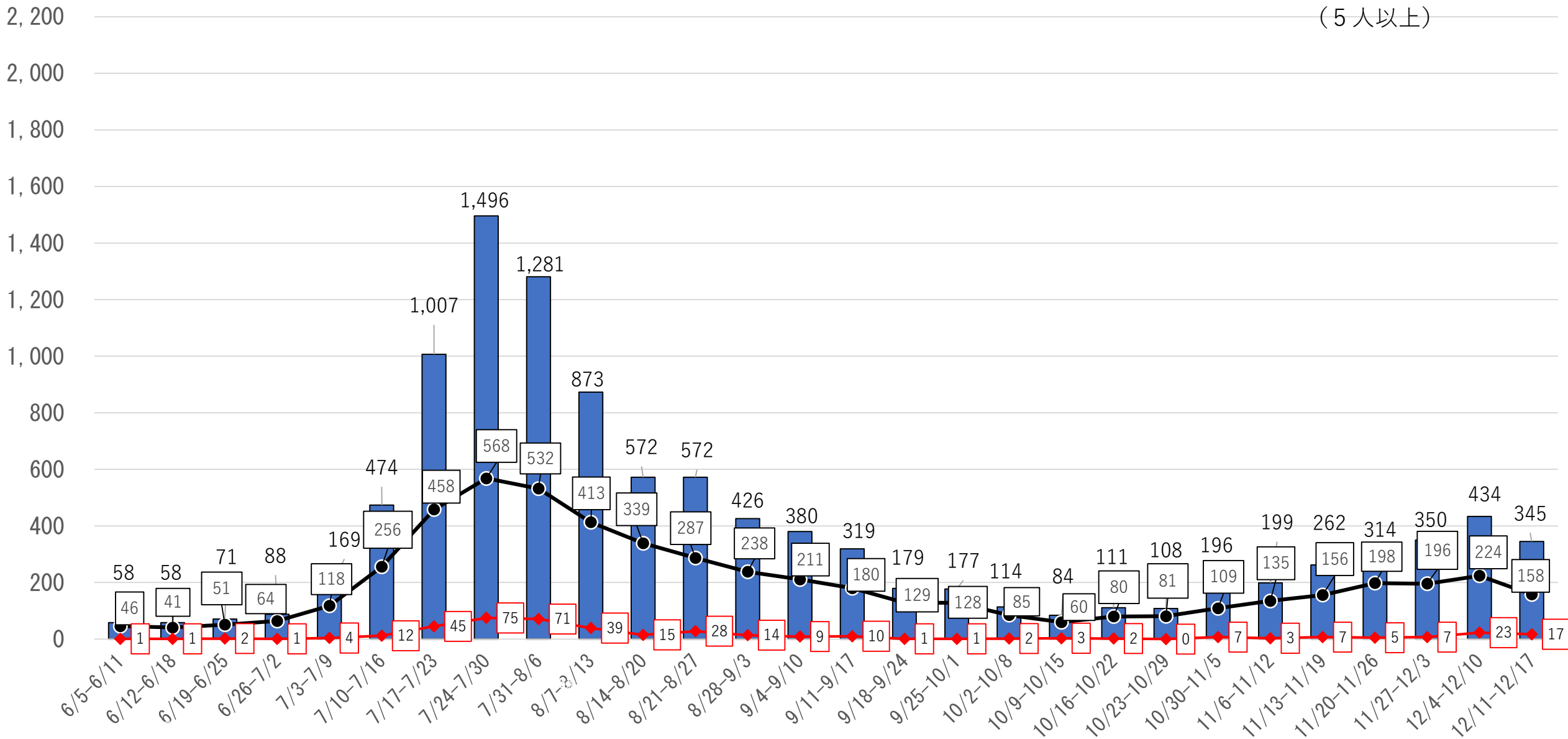


# 放課後児童クラブにおける感染発生状況(感染者数・施設数/週)

令和4年12月22日現在

(人・施設)

■感染者数 ●発生施設数 ◆発生施設数  
(5人以上)

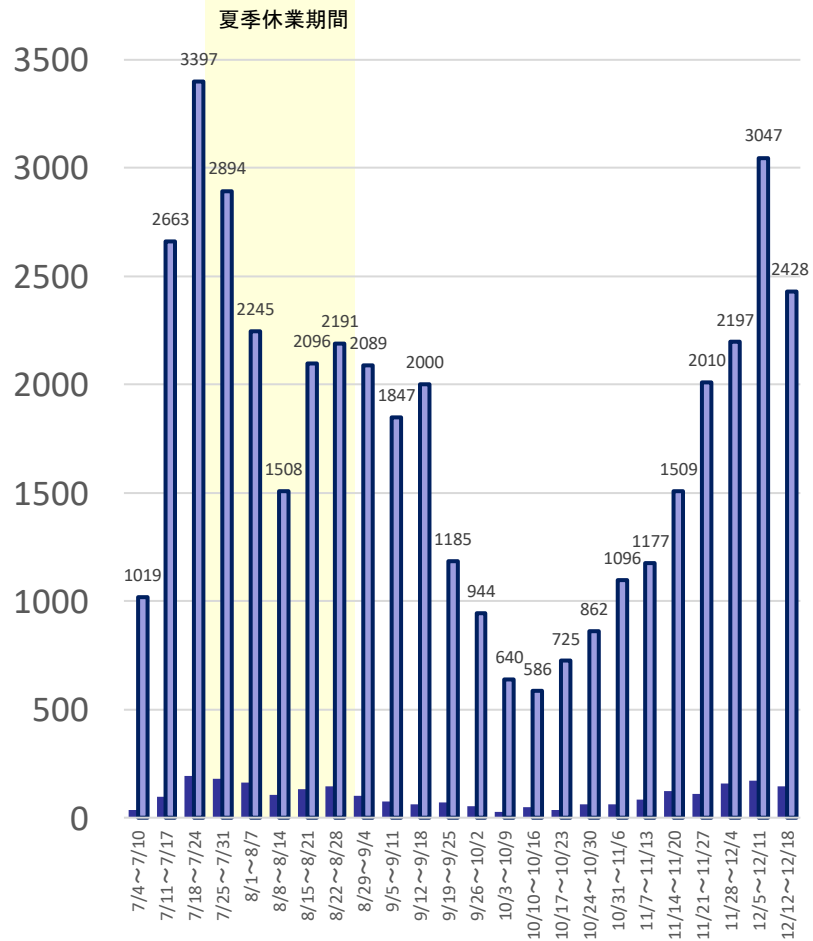


# 公立学校の感染状況

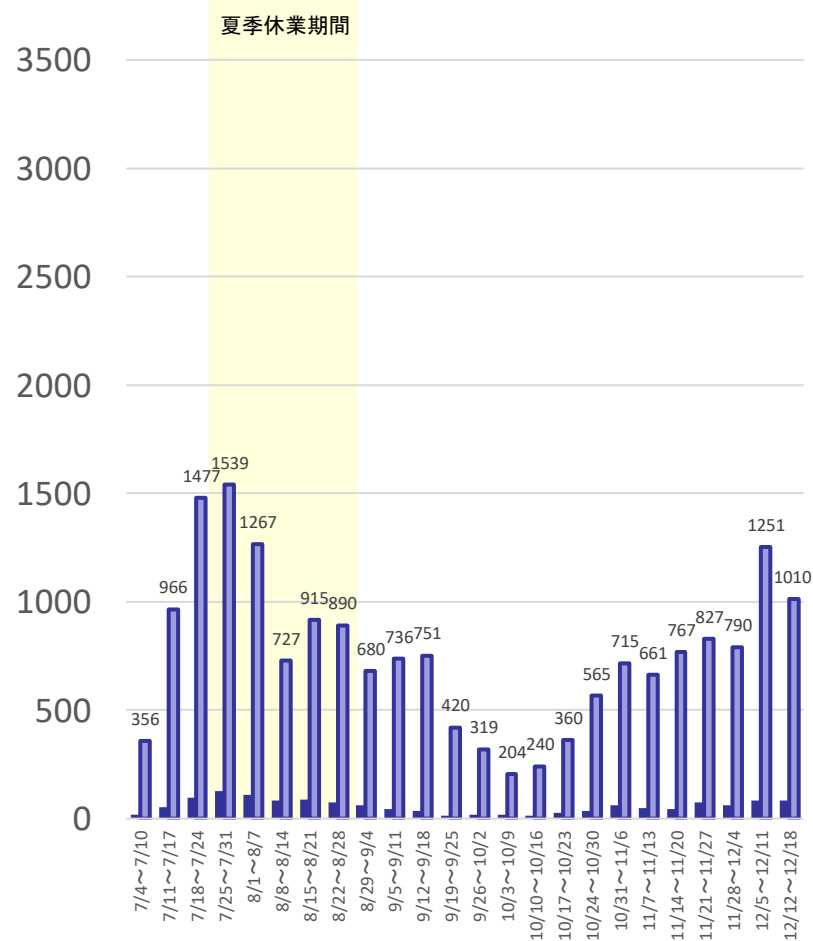
※ さいたま市を除く

## 新規陽性者の推移（陽性判明日ベース）

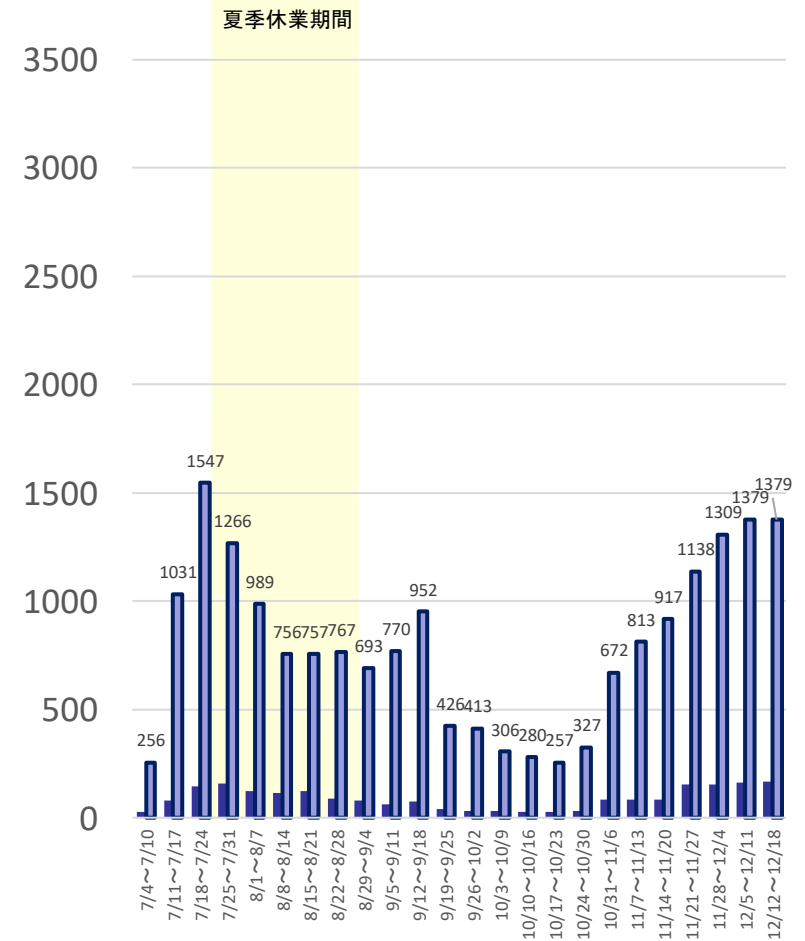
（市町村立小学校）



（市町村立中学校）



（県立学校 高校・特別支援学校）



■ 教職員 ■ 児童生徒

# 公立学校の感染状況

令和4年12月20日現在

※ さいたま市を除く

## 臨時休業の状況(令和4年4月～)

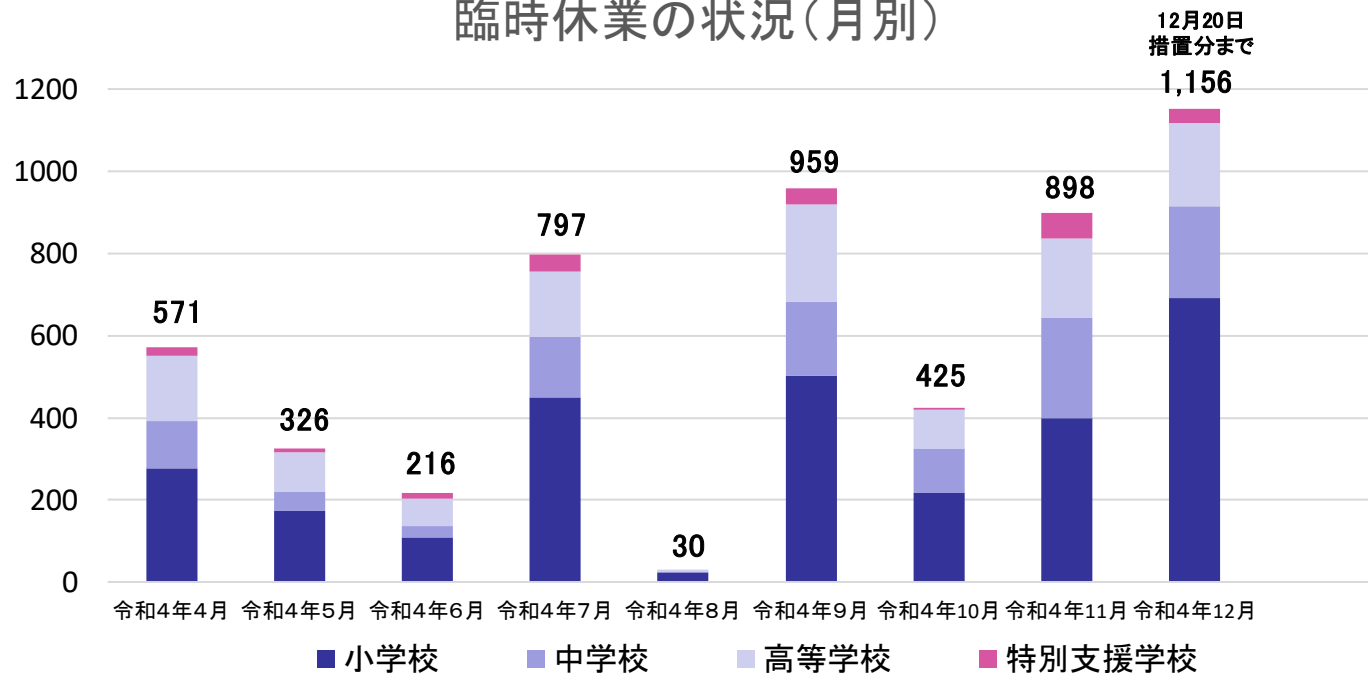
	学校閉鎖									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
小	2	0	1	3	1	4	0	6	12	
中	1	1	1	2	0	2	0	4	2	
高	1	0	1	1	0	2	0	0	1	
特	1	0	0	0	0	0	0	0	0	

学年閉鎖										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
29	17	14	60	0	60	27	38	89		
16	4	10	23	0	23	13	26	19		
11	6	4	10	1	22	5	7	11		
1	0	8	1	0	6	0	3	2		

学級閉鎖									
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
245	157	93	387	21	438	190	355	591	
100	40	16	122	4	156	94	214	202	
145	91	63	148	3	214	91	188	191	
19	10	5	40	0	32	5	57	36	

校種別計											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
276	174	108	450	22	502	217	399	692			
117	45	27	147	4	181	107	244	223			
157	97	68	159	4	238	96	195	203			
21	10	13	41	0	38	5	60	38			

## 臨時休業の状況(月別)





# 新型コロナウイルスワクチンについて

# 新型コロナウイルスワクチンの接種実績

資料12-1

(R4.12.21までの実績)

	オミクロン株 対応ワクチン (前日比)	うち3回目 (前日比)	うち4回目 (前日比)	うち5回目 (前日比)	うち高齢者 (前日比)
接種回数	2,469,939 (+51,987)	126,335 (+1,919)	1,162,089 (+15,449)	1,181,515 (+34,619)	1,116,862 (+29,569)
接種率	33.4% (+0.7)				56.6% (+1.5)

【参考：全体】

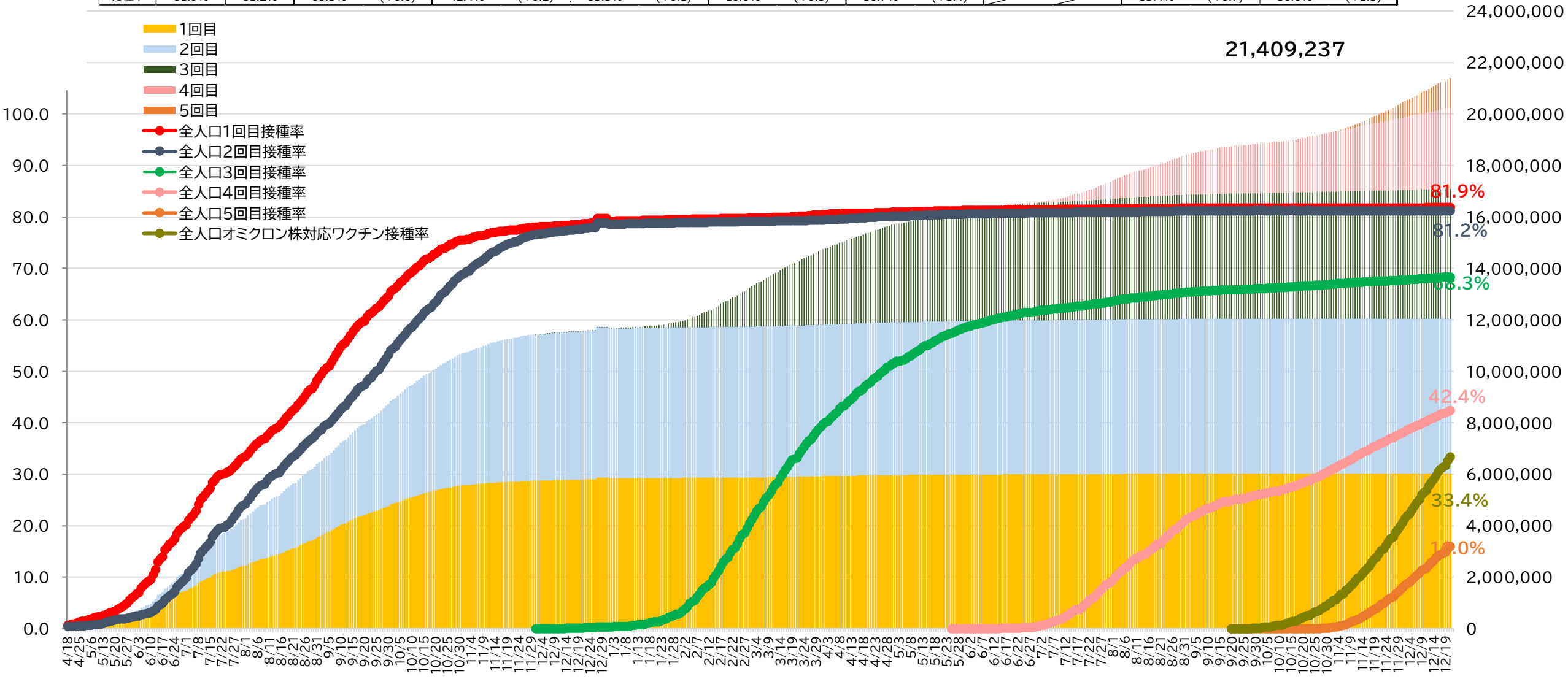
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
接種回数	6,046,109	5,999,488	5,047,968	3,134,157	1,181,515
接種率	81.9%	81.2%	68.3%	42.4%	16.0%
うち高齢者の率				83.5%	50.7%

※接種率は、R4.1.1時点の埼玉県の住基人口(738万5,810人)に対する、VRSに登録された接種数の割合から算出

# 新型コロナウイルスの接種実績

(R4.12.21までの実績)

	1回目接種	2回目接種	3回目接種 (前日比)	4回目接種 (前日比)	うち高齢者 (前日比)	5回目接種 (前日比)	うち高齢者 (前日比)	合計 (前日比)	うちオミクロン株 対応ワクチン (前日比)	うち高齢者 (前日比)
接種回数	6,046,109	5,999,488	5,047,968 (+2,193)	3,134,157 (+15,513)	1,648,021 (+1,546)	1,181,515 (+34,619)	1,000,303 (+28,004)	21,409,237 (+53,039)	2,469,939 (+51,987)	1,116,862 (+29,569)
接種率	81.9%	81.2%	68.3% (+0.0)	42.4% (+0.2)	83.5% (+0.1)	16.0% (+0.5)	50.7% (+1.4)		33.4% (+0.7)	56.6% (+1.5)



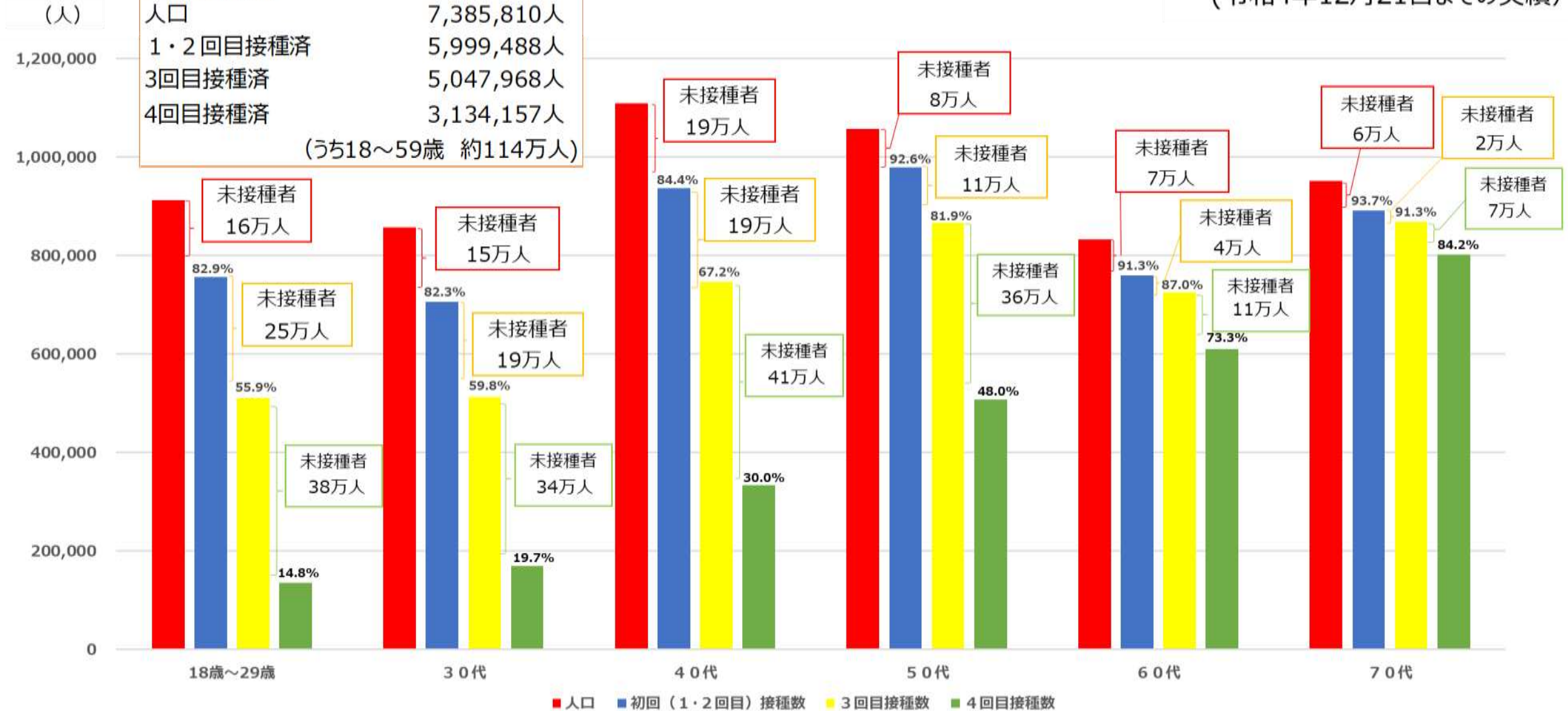
※ 接種率は、R4.1.1時点の埼玉県の住基人口(738万5,810人)に対する、VRSに登録された接種数の割合から算出

# 新型コロナウイルスワクチンの接種（年代別接種実績）（対人口）

（令和4年12月21日までの実績）

【全年代合計】

人口	7,385,810人
1・2回目接種済	5,999,488人
3回目接種済	5,047,968人
4回目接種済	3,134,157人
（うち18～59歳 約114万人）	









# 高校3年生等へのワクチン接種／高齢者福祉施設へのワクチンバス

・県接種センターでの高校3年生等接種には、717人が接種

※ 高3生等の家族や関係者の接種も実施

・ワクチンバスによる接種は、高3生等：239人、高齢者施設：約130人を接種

【12月】

日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
11	12	13	14	15	16	17
	県接種センター運営（接種人数：717名） 					
	南部会場 ・ 北部会場	南部会場 ・ 西部会場	南部会場 ・ 東部会場		聖望高校 (飯能市) 和光国際 (和光市)	ケアハウス エコの丘 (本庄市) 秩父農工 (秩父市)
18	19	20	21	22	23	24
	ワクチンバス出動（接種人数：約370名） 					
	武南高校 (蕨市) 松山高校 (東松山市)	栄北高校 (伊奈町)	あおぞら リビング武里 (春日部市) なごみ 不動産野 (春日部市)	なごみ小湊 (春日部市) 春日部高校 (春日部市)	エスポワール 熊谷 (熊谷市) ナーシング ホームこころ (上里町)	

凡例



【239名】  
県立4校  
私立3校

【約130名】  
サ高住3施設  
有料老人ホーム2施設  
軽費老人ホーム1施設



## 1. モデルナ社のワクチンの年齢引き下げについて

- ✓ 有効性や安全性、諸外国の対応状況等を踏まえ、モデルナ社の**スパイクバックス(従来型の1価ワクチン、並びにBA.1対応型及びBA.4-5対応型のオミクロン株対応2価ワクチン)**を、**特例臨時接種として12-17歳に対して追加接種を行う場合に使用するワクチンとして位置づけた。**
- ✓ その際の**接種間隔、交接種については、これまでと同様**に以下のとおり。
  - 接種間隔については、前回接種から少なくとも3ヶ月以上空ける。
  - 前回の接種までに用いたワクチンの種類に関わらず、接種できることとした。

## 2. 今後の接種のあり方について

今後の接種のあり方について、以下のとおり、検討を開始した。

### 1) 論点

- ✓ ワクチンの有効性等から**接種の目的**を明確にした上で、**接種計画(対象者、回数、時期、ワクチンの種類等)の検討を行う。**

### 2) 考慮要素 以下のようなポイントを考慮する。

- 新型コロナウイルス感染症の**疫学的状況・感染症法上の位置づけ**
- ワクチンの**安全性及び有効性の持続期間等**
- 次年度以降の、**諸外国における接種プログラムの方針**

### 3) 進め方

- ✓ 2) 考慮要素に関する**エビデンス**を国立感染症研究所において整理・収集。
- ✓ 上記整理を踏まえ、**2023年年初より、「予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会」において接種目的、接種計画に係る技術的な検討**を行った上で、**「予防接種・ワクチン分科会」にて議論を行い、速やかに方向性に関する結論を得る。**

### 4) 接種の実施に当たって

- ✓ 検討にあたっては、下記について十分配慮することとした。
  - ・自治体の準備状況
  - ・ワクチンの流通状況

## 3. 今後の予定

- ✓ **1.について**
  - 今般の答申について、12月13日に自治体に事務連絡を発出し、12月16日に自治体説明会を実施予定。
  - 必要な通知改正等を実施し、12-17歳の者に対して追加接種として**12月14日から接種開始。**

# 早めのワクチン接種を！

- ワクチン接種には重症化・死亡リスクを大きく低減させる効果あり  
⇒ **帰省、初詣、成人式等の外出機会も増加。早めのワクチン接種を！**
- 12月14日から、モデルナ社ワクチン（BA.4-5対応型）の接種対象が12-17歳にも拡大  
⇒ **県接種センターにおいては、同日から12歳以上に対象を拡大して接種実施**

## <県接種センター概要>

	東部会場 (越谷市)	西部会場 (川越市)	南部会場 (さいたま市)	北部会場 (熊谷市)
会場	南越谷ラクーン (南越谷駅・新越谷駅徒歩3分)	山崎ビル (川越駅徒歩1分)	ソニックシティビル (大宮駅徒歩3分)	ニットーモール (熊谷駅徒歩3分)
稼働日	火、金、土、日	月、金、土、日	木、金、土、日	水、金、土、日
受付	10:30~19:00 *金曜10:30~21:00	平日 10:30~19:00 土日祝 9:30~18:00	10:30~19:00 *金曜10:30~21:00	10:30~19:00

県接種センターは利便性の高いターミナル駅至近に開設し、年内は**12月29日（木）まで**運営しています！

御自身のため、大切な御家族や御友人のため、早期のワクチン接種のご検討を！

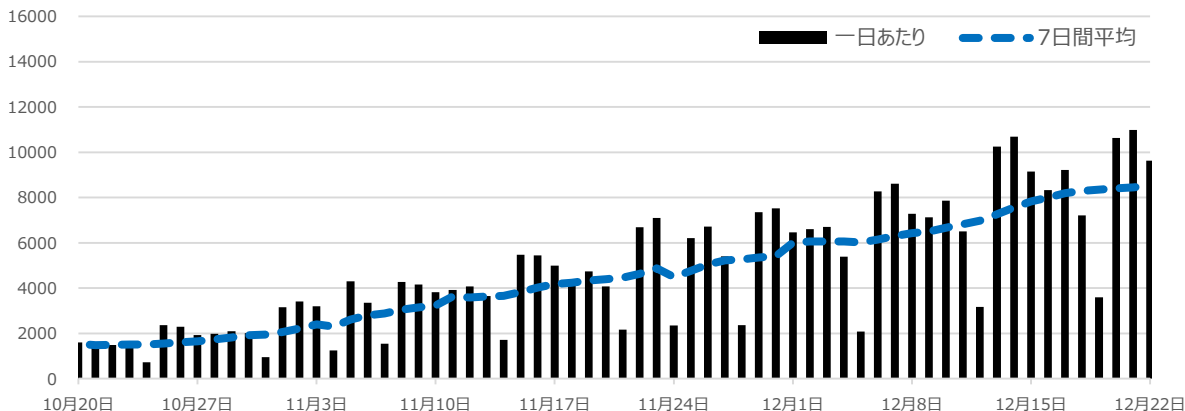
# 埼玉県の対応について



# 新型コロナと季節性インフルエンザの感染状況

資料13-1

## 新型コロナ陽性者数の推移



## 先週の状況

7,821人

陽性者数の7日間平均

## 今週の状況

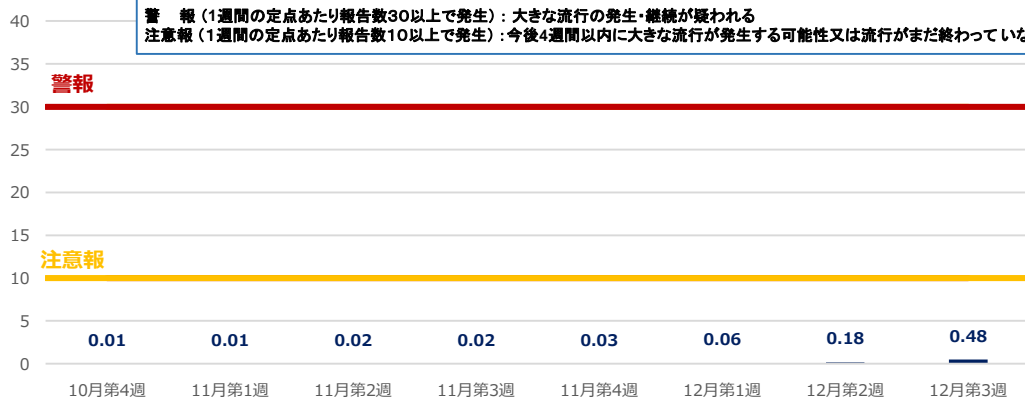
8,512人

陽性者数の7日間平均

## 状況

増加

## 埼玉県のインフルエンザの流行状況（定点あたり報告数）



0.18人

報告された定点当たり患者数/週

0.48人

報告された定点当たり患者数/週

増加

## 埼玉県の現在のレベル

### レベル2（感染拡大初期）

以下の事象や指標を踏まえ、総合的に判断

- 陽性者数については増加傾向にあるが、急増はみられない。
  - 発熱外来のひっ迫に急増はみられない。
  - 救急搬送件数の急増はみられない。
  - 入院患者や重点医療機関の医療従事者の欠勤者数の急増はみられない。
  - 確保病床使用率については50%を超えているが、重症病床使用率は50%には達していない。
- ※インフルエンザについては流行に至っていない。

## ○ 基本的な感染防止対策の推進

- ・各広報媒体の活用による呼びかけ
- ・市町村や各種団体等へ周知依頼等の協力依頼

## ○ 新型コロナワクチン接種の推進

- ・接種促進のための広報等
- ・県接種センターの運営

## ○ 無料検査について

- ・大宮駅西口（12/24～1/8）及び南越谷ラクーン（12/29～1/3）に臨時検査場設置、県が運営を委託する所沢検査所を年末年始も開設
- ・大型商業施設内の無料検査実施事業者等へ年末年始の検査実施を要請

## ○ 抗原定性検査キット事前購入の促進

- ・発熱等の体調不良時、速やかに自己検査できるよう検査キット・解熱鎮痛薬の事前購入の呼びかけ（市町村等にも協力依頼）
- ・大宮駅前のデジタルサイネージでの広報（11/24より実施）
- ・県薬剤師会、ドラッグストア関係団体等に対して検査キットの販売体制の充実等を依頼（11/18～28に副知事から依頼等）
- ・日曜・祝日及び年末年始に開店する薬局・店舗の情報の県ホームページ掲載

## ○ 検査確定診断登録窓口の対象年齢の拡大

- ・16歳～49歳 → 12歳～64歳に拡大（11/2より実施）

## ○ 電話相談体制の強化

- ・県民サポートセンター、受診・相談センター、陽性者相談窓口の相談体制の拡充（県民サポートセンター 12/16、受診・相談センター 12/1より拡充）
- ・#7119（#8000含む）の相談体制の拡充（12/29より実施）

## ○ 診療・検査医療機関の増加

- ・知事と県医師会長との連名で医療機関に新規募集の依頼（第7波と比べて約100か所の増加）

## ○ 診療・検査医療機関の休日の対応強化（12月～1月）

- ・休診が多い日曜・祝日及び年末年始に臨時で開院する医療機関を全県で募集
- ・稼働数が少ない年末年始については、郡市医師会に更なる協力依頼

## ○ 診療・検査医療機関以外の医療機関の診療の拡大

- ・県小児科医会・県産婦人科医会への依頼（かかりつけ患者の診療）  
※ コロナ・インフル同時検査キットを感染逼迫時に使用するため小児科・産婦人科に送付（12/14）
- ・その他医療機関への依頼（自己検査の結果コロナ陰性の場合の診療）
- ・電話・オンライン診療対応可能医療機関の県ホームページ掲載（12/22より実施）
- ・委託によるオンライン診療の拡大（12/15より実施）

## ○ 確保病床の拡充

- ・フェーズⅣ体制へ移行 要請数：1,580床（重症病床はフェーズⅠを継続）
- ・1,639床の即応病床を確保（12/19時点）
- ・コロナ病床の確保に関する国の補助制度の改正への対応（知事の判断で減額調整の対象としない制度の創設）

## ○ 高齢者支援型臨時施設の再開・拡大

- ・南部高齢者支援型臨時施設（15床）12/12 再開
- ・西部高齢者支援型臨時施設（15床）1/1 受入開始予定（9床→15床）
- ・東部高齢者支援型臨時施設（8床）1月下旬 開設予定

## 診療・検査体制

- 診療・検査医療機関の休日の対応強化（日・祝・年末年始に臨時に開院する医療機関を県HPで公開）
- スマートフォンによるオンライン診療の実施
- 大宮駅西口（12/24～）及び南越谷ラクーン（12/29～）に臨時検査場設置

## 相談体制

- 県民サポートセンター、受診・相談センター、陽性者相談窓口の相談体制の拡充
- 救急電話相談#7119（小児救急電話相談#8000含む）の相談体制の拡充

## 医療提供体制

- 高齢者支援型臨時施設（南部・西部）の再開・拡大

- ・基本的な感染防止対策の推進
- ・新型コロナワクチン接種の推進
- ・抗原定性検査キット事前購入の促進



**引き続き実施**

# 新型コロナウイルス抗原検査キットの臨時提供について

資料14-3

取扱注意

薬局等の休業で入手が難しい正月三が日は、臨時的に県が検査キットを提供

主な対象者	申込方法	受取方法
12歳～64歳の発熱症状のある方で基礎疾患などが無い重症化リスクが低い方	県の電子申請システムから申込	県内地域振興センターで配布

## 配布予定の地域振興センター(9か所)

南部地域振興センター(川口市)、南西部地域振興センター(朝霞市)、東部地域振興センター(春日部市)、  
県央地域振興センター(上尾市)、川越比企地域振興センター東松山支所、西部地域振興センター(所沢市)、  
利根地域振興センター(行田市)、北部地域振興センター(熊谷市)、秩父地域振興センター(秩父市)

※保健所設置市4市(さいたま市、川口市、川越市、越谷市)においても臨時提供を実施



提供できる数は極めて限られており、併せて事前購入による備えを改めて呼びかけ

## 生活困窮者への対応

- ★「生活困りごと相談会」の集中実施(12/24 大宮・川越会場同時開催 1/9 春日部会場)
- ★年末年始における相談対応(県福祉事務所による電話相談及び緊急時対応<町村部>)
  - ・県内相談先一覧を県HPに掲載(市町村窓口、福祉事務所、NPO等)

## 高齢者施設への働きかけ

- ★改めて施設に対して注意喚起し、対策の再徹底を依頼
  - ・一時帰宅で親族との接触があった場合など検査を実施
  - ・新型コロナとインフルの同時発生に備えた発熱時の対応手続きを再確認
  - ・寒い季節でも室内、送迎車内の適切な換気を実施
  - ・感染対策を徹底した面会の実施、必要に応じてオンラインを活用

## 保育所等への働きかけ

- ★改めて市町村を通じて施設や保護者へ対策の再徹底を働きかけ
  - ・手洗い、手指消毒、3密回避、換気などの基本的な感染対策の徹底
  - ・外出する場合は感染リスクの高い行動を控えるなど、「うつさない」、「うつらない」行動の呼びかけ
  - ・登園前チェックリスト及び新型コロナ・インフル対応リーフレットの配布

# 準備はしっかり、楽しい年末年始に！

～ 1 都 3 県の皆様へ～

## ワクチンの早期接種

- オミクロン株対応ワクチンの年内接種を！



## 感染防止対策の徹底

- 十分な換気、人混みや会話時のマスク、帰省時には検査を！



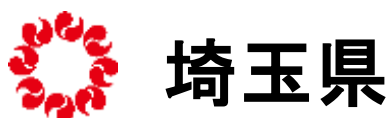
## いざという時の備え

- 抗原検査キットや解熱剤、食料、日用品などの備えを！



人と会う機会が増えるこの時期、

**感染拡大防止へのご協力**をお願いします



埼玉県



千葉県



東京都



神奈川県

**その他**



## 観光応援キャンペーンについて

項目	【1】全国版 旅して！埼玉割 観光応援キャンペーン	【2】2023 全国版 旅して！埼玉割 観光応援キャンペーン	【3】とくとく埼玉！観光応援キャンペーン
制度	宿泊・日帰り旅行に支援 (1)代金割引:40% (上限:交通付旅行商品:8千円 その他:5千円) (2)地域観光クーポン (平日:3千円、休日:1千円)	宿泊・日帰り旅行に支援 (1)代金割引:20% (上限:交通付旅行商品:5千円 その他:3千円) (2)地域観光クーポン (平日:2千円、休日:1千円)	宿泊旅行に対し観光・飲食クーポンを配布
対象	県民及び全国からの旅行者 約52万人分(約134万枚) ※ワクチン・検査パッケージ適用	県民及び全国からの旅行者 ※ワクチン・検査パッケージ適用	県民及び全国からの旅行者 16万人分(48万枚) ※ワクチン・検査パッケージ適用
事業期間	10月11日～12月27日 (クーポンの利用期限は12月28日まで)	令和5年1月10日～3月31日 (クーポンの利用期限は4月1日まで)	①12月9日～12月27日 最大1千円分配布 ②令和5年1月10日～2月28日 最大2千円分配布 (クーポンの利用期限は3月1日まで)
予算額	44億1,777万8千円 【国庫10/10(観光庁)】	18億8,915万3千円 【国庫10/10(観光庁)】	6億505万5千円 【県単(臨時交付金)】
実績	クーポン配布枚数(12月16日現在) 794,421枚/1,335,825枚 配布率 約59.5%	—	—
対象施設	割引対象・クーポン配布施設:247施設 クーポン利用可能施設:6,393施設 ※12月21日現在	—	クーポン配布施設:196施設 クーポン利用可能施設:5,016施設 ※12月21日現在